

令和 7 年11月19日（水）
午前 8 時45分～ 9 時30分
庁議室

令和 7 年度 第21回庁議次第

議題

○ 協議事項

- ① 一般質問に対する答弁の各部への割り振りについて

（秘書課）

○ 報告事項

- ① 指定管理者評価結果（令和 6 年度対象）について

（契約管財課）

- ② 人事異動について

（職員課）

○ その他

庁 議 付 議 事 案 申 請 書

令和 7 年 11 月 19 日

付議番号	7 — 31 号	提出者	総務 部長	宮本 学
1. 件名		一般質問に対する答弁の各部への割り振りについて		
2. 提案 の種類 ○をつ ける。	規程第 2条第 1項各 号	○ (1)行財政運営の基本方針に関すること。		
		(2)重要施策に関すること。		
		○ (3)条例案、予算案その他の市議会提出議案に関すること。		
		(4)各部課で作成する重要施策方針の調整に関すること。		
		(5)その他市長が命じた事項に関すること。		
3. 提案内容				
4. 提案理由				
5. 提案までの経過				
6. 現状と問題点		国分寺市議会会議規則第60条の規定により通告された一般質問について、答弁書を作成するため各部への割り振りを行う。 (一般質問予定日：令和7年11月27日～12月3日)		
7. 関係資料		令和7年第4回定例会一般質問通告一覧		

意思決定に至るまでの論点整理（採択基準 A…高 B…中 C…低）		採 択 基 準
緊急性	一般質問通告の締切日から本会議までの日数が短いため、早急に各部への割り振りを行い、質問内容の確認及び答弁調整を図る必要がある。	A
公共性		
重要性		
公平性		
総合性		
将来性		
経済性		
継続性		
関連性		
連携性		
地域性		
財源性		
個別課題への対応	個人情報保護	
	市民参加の機会確保	
	パブリックコメント	
	法務の対応	

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

順 序 ・ 質 問 者 / 質 問 事 項 ・ 要 旨	メ モ 欄
9. 木 島 たかし	
1 今後の市政経営について	
(1) 令和8年度予算編成方針について	政策部
(2) 今後の公共施設マネジメントについて	政策部
(3) 新たな財政マネジメントの構築について	政策部
2 物価高対策について	
(1) 現状の認識について	政策部
(2) 「重点支援地方交付金」を活用した取組について	市民生活部・子ども家庭部
3 トイレ対策の推進について	
(1) 災害時のトイレ対策について	総務部
(2) 女性用トイレの比率を増やすための取組について	総務部
4 国分寺市バリアフリー特定事業計画について	
(1) バリアフリー対応型信号機及びエスコートゾーンにつ	まちづくり部
いて	
5 ことばと聴こえの支援について	福祉部・教育部
【資料請求】	
10. 星 いっろう	
1 希望者は保育所に必ず入ることができる環境整備を～若い世代の流入につなげ市の将来を切り拓く	子ども家庭部
2 西国分寺駅南口の通り道における傾斜について～バリアフリーの観点から	まちづくり部
3 ぶんバスについて	
(1) シルバーバスの導入を	建設環境部
(2) 北町ルート of 東戸倉エリアにバス停設置を	建設環境部
4 粗大ごみ処理手数料の減免制度について	建設環境部
【資料請求】	
1 保育利用率（過去5年分）	子ども家庭部

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

順 序 ・ 質 問 者 / 質 問 事 項 ・ 要 旨	メ モ 欄
13. 中 山 ごう	
1 お米券の配布について	政策部
2 国民健康保険税の負担軽減を	
（１）国民健康保険税の値上げはストップを	健康部
（２）子どもの均等割軽減を	健康部
3 ジェンダー平等の推進に向けて	
（１）生理用品の設置について	市民生活部
（２）パートナーシップ制度について	市民生活部
4 気候危機への対策強化を	
（１）気候市民会議の設置を	まちづくり部
（２）公共施設の断熱化・太陽光発電の導入について	まちづくり部
5 不登校支援について	教育部
【資料請求】	
3 （１）市内公共施設（学校含む）への設置状況及びトイレ 個室への設置状況が分かる資料	市民生活部・教育部
14. 松 岡 ま り	
1 障がいの有無にかかわらず安心して過ごせる子どもの環 境づくりを	
（１）診断の有無にかかわらず支援を必要とする子どもにつ いて	
①障害児通所支援	福祉部
②児童発達支援センターつくしんぼ	子ども家庭部
（２）学童保育所	子ども家庭部
（３）市立小・中学校特別支援学級における研修	教育部
（４）第５次国分寺市特別支援教育基本計画（義務教育時）	教育部
（５）ファミリー・サポート・センター事業	教育部
2 ひとり親家庭への支援について	
（１）実質ひとり親家庭	子ども家庭部
（２）ベビーシッター利用	子ども家庭部
（３）ひとり親家庭ホームヘルプサービス	子ども家庭部
【資料請求】	

[illegible]

令和7年 第4回定例会 一般質問 通告一覧

順 序 ・ 質 問 者 / 質 問 事 項 ・ 要 旨	メ モ 欄
17. 高 瀬 かおる	
1 認知症について	福祉部
2 新町一丁目緑地について	建設環境部
3 開発事業について	
(1) 国分寺市まちづくり条例について	まちづくり部
(2) 人口増に伴う教育環境について	教育部
4 第六小学校のプール解体に伴う環境整備について	教育部
5 並木公民館・図書館長寿命化改修工事に伴う休館について	
(1) 並木公民館について	教育部
(2) 並木図書館について	教育部
6 日中一時支援事業について	福祉部
【資料請求】	
2 市民懇談会で示された整備のイメージ案と案内図を合わせた図	建設環境部
5 (1) 令和6年度の並木公民館・北町地域センター・福祉センターの利用状況が分かる資料	市民生活部・福祉部・教育部
18. 寺 嶋 たけし	
1 教育バウチャーをはじめとした教育関連施策について	
(1) 教育バウチャーの試行実施について	福祉部
(2) 教育バウチャー以外の教育関連施策について	福祉部
2 生涯スポーツ並びにeスポーツ等の振興について	市民生活部
3 防災に関する情報発信や意識向上について	総務部
4 国分寺市における外国人との共生について	市民生活部
【資料請求】	

指定管理者評価結果報告書
(令和6年度対象)

令和7年11月

国分寺市

目 次

1	令和6年度指定管理者評価結果一覧表	… 1
2	指定管理者評価票	
(1)	いずみホール	… 5
(2)	c o c o b u n j i プラザ	… 9
(3)	有料自転車等駐車場 (西国分寺駅南口・第2、西国分寺駅北口・第2、 国分寺駅南口、国分寺駅南口原付、殿ヶ谷戸庭園西、 国分寺駅北口、国分寺駅北口地下)	…13
(4)	介護老人保健施設すこやか、 高齢者在宅サービスセンターふれあい	…17
(5)	障害者センター	…21
(6)	プレイステーション	…25
(7)	いきいきセンター	…29
(8)	体育施設 (スポーツセンター、ひかりスポーツセンター、けやき運動場、 本多武道館、戸倉第一・第二テニスコート、室内プール)	…33
(9)	戸倉野球場	…37
(10)	ひかり児童館、第一・第二・第三・第四光町学童保育所、 第三泉町学童保育所	…41
(11)	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、 第一・第二・第三日吉町学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所	…45
(12)	もとまち児童館、第一・第二東元町学童保育所	…49
(13)	福祉センター、生きがいセンターとくら	…53
(14)	しんまち児童館、第一・第二新町学童保育所、 戸倉学童保育所	…57
(15)	西町地域センター、生きがいセンターにしまち、 にしまち児童館、西町学童保育所	…61
(16)	もとまち地域センター、生きがいセンターもとまち	…65
(17)	生きがいセンターさわやか	…69

指定管理者評価結果（令和6年度対象）（指定管理者・主管課・評価委員会）一覧表

	施設	指定管理者名	指定期間	主管課	指定管理者 評価	主管課 評価	評価委員会 評価	評価委員会における評価の理由等	市評価
1	いずみホール	株式会社ケイミックスパブリックビジネス	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日	文化振興課	4	4	4	全体として積極的かつ丁寧な施設の運営を行っており、利用率、利用者満足度ともに高い水準を保っている。報告書にあるように、親しまれ、有意義に利用される施設という目標を、現実のものとするために努めていることがしっかりと感じられる。今後も市民に身近なホール施設として、適切な管理運営を継続していただきたい。 一方、グランドピアノの側板が一部欠損するという事象が発生した。該当のピアノに限ったことではないが、備品等の管理についてさらに適切に対応されることを望む。	4
2	c o c o b u n j i プラザ	株式会社京王設備サービス	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日	文化振興課	4	4	4	市主催事業や自主事業など、魅力的な事業を引き続き様々実施している。それに加えて、国分寺駅に隣接しているという立地や市民サービスコーナーが同フロアに設置されていることから、施設を利用するかどうかに関わらず、多くの人が出入りするという特性がある。そのような中で、清掃に気を配り施設を清潔に保つことや、不審者へ注意を払うことなど、施設の管理上重要な対応もしっかりと行っている。国分寺市の魅力を発掘・発信する施設であり続けられるよう、適切な管理運営を継続していただきたい。	4
3	有料自転車等駐車場 (西国分寺駅南口・第2、西国分寺駅北口・第2、国分寺駅南口、国分寺駅南口原付、殿ヶ谷戸庭園西、国分寺駅北口、国分寺駅北口地下)	株式会社ソーリン	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日	交通対策課	3	3	3	年間で延べ170万人近くの方が利用する施設であり、利用者満足度は前年度より下がったものの、約8割の方が「良い」以上の評価をしている。ハード面の施設管理とあわせて、公の施設の管理として、接遇等ソフト面の対応をしっかりとしていることがうかがえる。一方、アンケート結果を見ると、管理員の接遇に対して、不満の声があることも事実である。研修等をしっかりとして実施していることは確認しているが、さらに利用者が気持ちよく利用することができる駐車場となるよう、対応を継続していただきたい。	3
4	介護老人保健施設すこやか 高齢者在宅サービスセンター ふれあい	一般財団法人国分寺市健康福祉サービス協会	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日 (ふれあいは、令和6年10月31日まで。)	高齢福祉課	3	3	3	ふれあいにおいて実施していた通所介護をすこやかの通所リハビリテーションに移行するという状況変化がある中、協定書等に基づき適切に事業を実施していた。一方、収支が大きくマイナスであることについて、この施設の運営が立ち行かなくなるのではないかと心配である。 今後も利用者がサービスを受けることができるよう、施設の規模といった面からの制約もあるが、引き続き担当課との調整も行いながら事業を実施していただきたい。	3
5	障害者センター	社会福祉法人万葉の里	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日	障害福祉課	3	3	3	指定管理業務について、丁寧に取り組んでおり、人材育成についても積極的に推進していることがうかがえる。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、施設を清潔に保ち、適時消毒を実施するなど、安心して利用できるよう努めている。アンケート調査において、例えば生活介護の間11、12及び14について、相対的に「はい」と回答した割合が低くなっており、気になる点である。担当課とも情報共有しながら事業を継続していただきたい。	3
6	プレイステーション	特定非営利活動法人 冒険遊び場の会	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日	子ども子育て支援課	4	5	5	利用者満足度について、引き続き高い割合を維持している。子どもたちに対する対応をすることと併せて、子どもたちに遊び場を提供するプレイリーダー育成にも積極的に取り組んでいる。 青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場を提供していることから、施設には様々な子どもたちが遊びに来る。そのため、トラブルが起こることもあり、すぐに解決しないような状況においても、時間をかけてしっかりと対応をしている姿がうかがえる。これら子どもに対する向き合い方について、高く評価する。	5
7	いきいきセンター	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	健康推進課	4	4	4	研修について積極的に実施し、AEDの使用、通報、消火活動等を全員が対応できるようにしており、利用者にとってより安心して利用できる施設となっている。さらに、利用団体との関係性も構築されており、大きな苦情は無かった。 一方、以前から課題となっている40代、50代の利用者増加については、努力は見えるものの十分な結果につながっていない。制約がある中だと思うが、担当課とも調整しながら、対応を引き続き継続していただきたい。	4
8	体育施設 (スポーツセンター、ひかりスポーツセンター、けやき運動場、本多武道館、戸倉第一・第二テニスコート、室内プール)	日本管財・TAC共同事業体	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日	スポーツ振興課	3	4	4	年間延べ約45万人が利用している施設であるが、苦情も少なく、また、事故等も無く、日頃から丁寧に施設の運営を行っていることがうかがえる。また、日々の体育施設の管理運営と併せて、地域に根差した施設であるため、周辺の美化活動や市の事業への参加等を行っていた。引き続き安全面に配慮し、市民を含めた利用者にとって親しみのある施設であるよう、日常的な業務を確実に遂行していただきたい。	4
9	戸倉野球場	日本管財・TAC共同事業体	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	スポーツ振興課	3	3	3	前年度からの引き続きとなるが、指定期間としては令和6年度1年間であった。野球場単体での指定管理となったが、これまでの経験を生かして施設管理を行った結果、苦情も無く、1年間を通して安定した運営ができていたと考える。	3

※評価基準は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」

指定管理者評価結果（令和6年度対象）（指定管理者・主管課・評価委員会）一覧表

	施設	指定管理者名	指定期間	主管課	指定管理者 評価	主管課 評価	評価委員会 評価	評価委員会における評価の理由等	市評価
10	ひかり児童館 第一光町学童保育所 第二光町学童保育所 第三光町学童保育所 第四光町学童保育所 第三泉町学童保育所	株式会社明日葉	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日	子ども子育て支援課	3	4	4	指定管理者の自己評価票には、 Consent 周りを月1回清掃していることが記載されており、火災から子どもたちを守るため、目立つことではないが、やるべきことをきちんと行っていることは素晴らしいと感じる。このことに限らず、計画書や報告書の記載内容から、細かいところまで気を配って管理運営をしていることがうかがえる。障害児の対応も含め、保護者とのコミュニケーションも丁寧に行っており、より良い保育を行うため、信頼関係の構築に努めていることを評価する。	4
11	第一東恋ヶ窪学童保育所 第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 第二日吉町学童保育所 第三日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日	子ども子育て支援課	3	3	3	令和6年度から、第二・第三日吉町学童保育所が指定管理の施設として加わった。指定管理者が替わり、職員が替わり、それまでの学童保育所運営と異なる点について、保護者からご意見等をもらうこともあったようである。そのことに対して、誠実な対応を行い、また、現場任せにすることなく、法人全体として対応を行うことで、信頼関係の構築に努めていた。 引き続き指定管理を行っている施設を含め、これまでの学童保育所運営の経験を踏まえ、保護者からのご意見にも耳を傾け、丁寧な運営に努めていただきたい。	3
12	もとまち児童館 第一東元町学童保育所 第二東元町学童保育所	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日	子ども子育て支援課	3	4	4	中高生のための開館時間延長「中高生スペシャル&タイム」を、予定以上に実施したことや、日曜日開館の実施回数を増やすなど、利用者の希望に沿った運営をしていたことを評価する。一方、そのことで職員へ負荷がかかること、他の児童館の水準との兼ね合いが気になるところでもある。 地域の方の協力を得たり、近くの施設との連携を図ったりするなど、地域に根差した学童保育所運営がなされており、日常においても、丁寧な運営がなされていることがうかがえる。	4
13	福祉センター 生きがいセンターとくら	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日	地域共生推進課 高齢福祉課	4	4	4	イベントなどを工夫して実施し、地域の方の参加が増えてきている状況がうかがえる。福祉センターまつりにおいても、令和5年度よりも来場者数が増加した。生きがいセンターにおいても、市内6施設の中心的な役割を果たし、発表会等を実施した。また、施設面において問題があったトイレの改修工事においても、市と協力し、一時的に使用不可となることへの対応も丁寧に行っていた。令和6年度から新たな指定管理期間となったが、今まで積み上げたことを大切に、運営を継続していただきたい。	4
14	しんまち児童館 第一新町学童保育所 第二新町学童保育所 戸倉学童保育所	株式会社こどもの森	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日	子ども子育て支援課	3	3	3	特に戸倉学童保育所においては、定員数に対して登録児童数が多い状況にありながら、狭あい状況への対応や行事の実施などを行い、満足度は高くなっている。現場においては、子どもに対して丁寧に接していることがうかがえる。 しかし、昨年度も指摘があった必要書類の提出遅れについて、令和6年度において事業報告書など提出期限を過ぎての提出があった。まずは、児童館及び学童保育所の丁寧な運営が大切であるが、指定管理者の業務として、書類の提出も当然求められることである。以降は、必要書類の提出遅れ等の無いよう留意いただきたい。	3
15	西町地域センター 生きがいセンターにしまち にしまち児童館 西町学童保育所	株式会社こどもの森	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日	協働コミュニティ課 高齢福祉課 子ども子育て支援課	4	3	3	西町プラザまつりを行い、地域の交流を図るとともに、複合施設として多世代交流が図られていた。落語会への児童の参加もそれである。また、児童館、学童保育所においては、子ども同士のトラブルなどについても、丁寧な対応が行われていたことがうかがえる。 一方、市へ提出する書類について、期限は守られてはいるものの、内容について不備が多く修正に時間を要するといったことが見受けられた。しんまち児童館のグループと同様、書類の提出について改善を図っていただきたい。	3
16	もとまち地域センター 生きがいセンターもとまち	株式会社東京リーガルマインド	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日	協働コミュニティ課 高齢福祉課	3	3	3	自主事業について、一部実施できなかった事業があったことは残念であるが、新型コロナウイルス感染症でしばらく実施できていなかった、もとまちプラザまつりを再開し、地域との連携を深められたことを評価する。建物の造りが高齢者には使いにくい面がある状況下ではあるが、その中でも、高齢者の交流や健康の維持に寄与していた。他の施設と比べて利用者が少ないようであるが、ソフト面での対応をより充実させるなど、利用者の増加につなげていただきたい。	3
17	生きがいセンターさわやか	特定非営利活動法人あおぞら	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日	高齢福祉課	4	4	4	利用者を増やすために、チラン配架場所の増設や敷地内におけるのぼり設置などを行い、実際に成果をあげていた。また、高齢者同士の交流を促すことに留まらず、子どもやミドル世代との交流促進のために、近隣児童館との共催イベントを開催していた。アンケートの結果を見ても、それぞれの事業等に対する満足度は高い結果となっている。引き続き、地域に根差した施設運営を行っていただきたい。	4

※評価基準は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」

指定管理者評価票
(令和 6 年度対象)

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	国分寺市立いずみホール	所属名	市民生活部 文化振興課
指定管理者名	株式会社ケイミックスパブリックビジネス	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設の設置目的	市民の芸術、文化活動の普及振興を図ることにより市民文化の向上に寄与する。		
事業概要	市民の芸術、文化活動の普及、施設の管理運営		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	94,606,497	93,361,461	93,893,257	281,861,215
収入内訳				
指定管理料	92,429,000	92,909,536	93,417,707	278,756,243
利用料金	0	0	0	0
その他	2,177,497	451,925	475,550	3,104,972
支出	85,444,049	85,650,229	86,447,292	257,541,570
収支差額	9,162,448	7,711,232	7,445,965	24,319,645

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画書に基づき、適正に執行されていた。	3	3
業務の 履行 状況 の 評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定等や公募時に提出された、事業計画及び企画提案書に基づき、ホールの運営に必要な業務が的確に実施されていた。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	開館日数及び開館時間は遵守されていた。また、受付時間を午後10時までに拡大するなど、サービス向上に努めていた。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	適正な体制で執行され、勤務予定表も事前に作成されていた。貸館やイベント内容により増員するなど、臨機応変に対応していた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	4	管理運営に必要な防火管理者は既に確保されているが、より多くの職員が防火管理者の有資格者となるよう努めていた。	4	4
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠できるキャビネットに保管しており、適正に管理されていた。毎月、連絡協議会を実施し、所管課に必要な報告もなされている。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	日常清掃及び定期清掃が適正に実施されており、清潔に保たれていた。汚水槽清掃の仕方を工夫し、トイレ内の匂いが改善された。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	4	法定点検や検査等は確実に実施し、適宜、所管課に報告されている。また、その結果に応じた対応も適切かつ迅速であった。	4	4

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	89.88% (控室は除く)	94.04% (控室は除く)	93.65% (控室は除く)	92.52% (控室は除く)
利用者満足度(%)	100.0% (満足・やや満足 合計)	99.0% (満足・やや満足 合計)	99.2% (満足・やや満足 合計)	99.4% (満足・やや満足 合計)

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	年2回の利用者アンケートの他に利用者意見交換会を行い、高い評価が得られている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者からの要望及び利用者アンケートでの意見等を受け、迅速かつ的確な改善等が図られていた。また、顧客満足度第三者調査も実施されていた。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートからも、事務所スタッフ及び舞台スタッフの対応に関しては高い評価を得ている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	クレーム等があった際には、所管課に適時報告し、必要に応じて協議を行い、適切に対応していた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	全ての個人情報が記載されている書類は施錠できるキャビネットに保管されており、適切に扱われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	人権研修や接遇マナー研修、危機管理研修などが計画的に行われ、職員の資格取得につながるよう努めていた。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	障害者手帳をお持ちの利用者への減免の案内、車椅子の来館者に対してはドアの開け閉めを行うなど、利用者目線での対応に努めていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の特性に応じた水準の評価	広く市民に受け入れられる主催事業の実施及び「いずみ春の祭典」へ協力したか	4	子どもから高齢者まで様々な人が文化・芸術に触れる機会を提供し、幅広いジャンルで主催事業が開催された。また、いずみ春の祭典では実行委員会と緊密に連携し、スムーズに運営されていた。	4	4
	情報発信(ホームページ事業など)を積極的に行っているか	4	ホームページは、随時最新情報を掲載していた。また、催しものや、イベント情報などの情報発信をSNSや年3回インフォメーションを発行するなど積極的に行っていた。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関連提案内容の選定時の状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有	提案有無 有
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施有無 有	実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有	提案有無 有
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施有無 有	実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	新たな指定管理者に変更して3年目になり、市と連携を図りながら、適切かつ円滑に管理運営が行われている。市との連携はもちろんのこと、いずみホール運営委員会とも話し合いを重ね、主催事業や自主事業、年3回のインフォメーションの発行、開館時間中の受付業務を午後10時まで拡大することを継続、常勤職員全員に甲種防火管理者講習を修了させ有資格者を確保するなど、サービス向上に努める取組についても評価する。また、利用者からの評価も高く、音楽ホールとしての機能維持に欠かせないサービスの提供を行った結果であると考え。なお、老朽化している設備関係の修繕対応についても、関係事業者と調整を行い、施設の適正な維持に大きく貢献しているものと考え。	4	4
主管課長：文化振興課長 氏名：鈴木 淳 司				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	運営3年目にあたり、引続き弊社ノウハウの活用による積極的なサービス向上を図ることで、利用者に快適にご利用いただき、相応に高い満足度をいただいた。また、様々な事業の開催により、多くの市民にお楽しみいただいた。所管課とも緊密に連携し、適正な管理運営が実施できた考える。	4	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	全体として積極的かつ丁寧な施設の運営を行っており、利用率、利用者満足度ともに高い水準を保っている。報告書にあるように、親しまれ、有意義に利用される施設という目標を、現実のものとするために努めていることがしっかりと感じられる。今後も市民に身近なホール施設として、適切な管理運営を継続していただきたい。 一方、グランドピアノの側板が一部欠損するという事象が発生した。該当のピアノに限ったことではないが、備品等の管理についてさらに適切に対応されることを望む。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:6年度)

施設名	国分寺市立cocobunjiプラザ	所属名	市民生活部 文化振興課
指定管理者名	株式会社京王設備サービス	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設の設置目的	市民の多彩な交流と活動の場を創出し、まちの魅力を発信するとともに、市民文化の向上に寄与する。		
事業概要	施設の管理運営、市主催事業の実施、カフェ・レストランの運営		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	80,808,355	80,799,761	85,813,410	247,421,526
収入内訳				
指定管理料	79,577,697	80,344,617	85,179,500	245,101,814
利用料金	0	0	0	0
その他	1,230,658	455,144	633,910	2,319,712
支出	74,551,286	77,288,687	84,660,232	236,500,205
収支差額	6,257,069	3,511,074	1,153,178	10,921,321

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき、適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定書等に基づき、施設の管理運営は適正に実施されていた。多目的スペース追加に伴う変更協定やルール策定など、滞りなく対応されていた。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	開館日数及び開館時間は遵守されていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	適正な体制で執行され、勤務予定表も事前に作成されていた。貸館やイベント内容により増員するなど、臨機応変に対応していた。	4	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	4	防火管理者は確保されていた。施設管理に必要な上級救命講習を全運営スタッフに受講させ、有資格者を配置していた。	4	4
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠できるキャビネットに保管しており、適正に管理されていた。毎月、連絡協議会を実施し、所管課に必要な報告もなされている。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	日常清掃及び定期清掃が適正に実施されており、施設内の美観が高い水準で保たれていた。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	4	法定点検や検査等は確実に実施し、適宜、所管課に報告されている。また、その結果に応じた対応も適切かつ迅速であった。	4	4

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	71. 2% (リオンホール)	80. 6% (リオンホール)	79. 5% (リオンホール)	77. 1% (リオンホール)
利用者満足度(%)	100. 0% (満足・やや満足 合計)	100. 0% (満足・やや満足 合計)	100. 0% (満足・やや満足 合計)	100. 0% (満足・やや満足 合計)

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートの結果からも、総じて良い評価を得ている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者アンケートや施設利用者からの要望・意見を尊重し、サービスの向上に努めていた。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートからも、スタッフの対応に関しては高い評価を得ている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	クレーム等があった際には、所管課に適時報告し、必要に応じて協議を行い、適切に対応していた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	4	全ての個人情報が記載されている書類は施錠できるキャビネットに保管されており、適切に扱われていた。また、法解釈や実際の取扱いについても、研修や資料回覧にて適宜指導を実施していた。	4	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	社内外研修、スタッフ勉強会、また資料を回覧するなどして、適宜、指導を行っていた。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	市の指針に基づき、窓口拡声機器、補助グッズの設置や活用、サービス介助士等の有資格者による指導を行うなど、利用者への配慮に努めていた。	4	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の水準に応じた評価	カフェ・レストラン運営業務が適切に行われているか	4	カフェ・レストラン運営業務要求水準書に示した内容を遵守して運営するとともに、市のイベントと連動した限定メニューを提供するなど、市の魅力発信に貢献する運営がなされていた。	4	4
	まちのぶんかターミナルとして、積極的に情報発信を行っているか	4	ぶんかターミナルコーディネーターを毎日配置するとともに、宇宙やこくべじに関する企画、いずみホールイベント情報コーナーの設置等、積極的に市の魅力発信に貢献する運営がなされていた。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関連する状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	cocobunjiプラザの指定管理者は、市と連携を図りながら、適正かつ円滑に管理運営を行っている。日々の施設管理運営はもちろん、日常清掃及び定期清掃が適正に実施されており、施設内の美観が高い水準で保たれている。利用者アンケートの結果からも、総じて良い評価を得ている。また、上級救命講習を全運営スタッフに受講させ、有資格者を配置する有事の備え、さらに、サービス介助士有資格者を配置する合理的配慮等への取組についても評価する。市主催事業や自主事業についても、適正かつ柔軟に取り組まれ、カフェでの市のイベントと連動した限定メニューの提供、メディアを利用した積極的な宣伝、施設内において毎回新たな企画展示や映像放映の実施、ぶんかターミナルコーディネーターを配置するなど、まちの魅力の発掘や発信に高く貢献しているものと考え。	4	4
主管課長：文化振興課長 氏名：鈴木 淳 司				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	協定書や提案書に基づく業務を着実に履行した中で、貴市各担当からのご要望や情報共有による施設利用の改善対応に限らず、近隣市や他施設運営に関する相談対応などに取り組んだ。 施設運営・維持管理では、日常外で発生した空調機水漏れ、建物断水、分電盤容量不足などの建物全体に係る設備的諸問題の把握や改善に努めたほか、不審者・傷病人対応に伴う警察・消防・施設防災との連携処置を適時適切に行い、施設内の公衆衛生・安全の確保に結び付けた。また、市主催事業や自主事業では、文化団体・学校・企業・店舗等との連携によって協力団体の活性化や新たな交流のきっかけ作りに寄与するとともに、協力団体に限らずイベントにご参加ご来場のお客様の声を含めた喜びと感謝の声をいただく結果を得るなど、指定管理者独自のノウハウを活かした着実な施設運営の実施と文化交流拠点としての施設認知度や貴市の魅力向上に繋げることが出来た。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	市主催事業や自主事業など、魅力的な事業を引き続き様々実施している。それに加えて、国分寺駅に隣接しているという立地や市民サービスコーナーが同フロアに設置されていることから、施設を利用するかどうかに関わらず、多くの人が出入りするという特性がある。そのような中で、清掃に気を配り施設を清潔に保つことや、不審者へ注意を払うことなど、施設の管理上重要な対応もしっかりと行っている。国分寺市の魅力を発掘・発信する施設であり続けられるよう、適切な管理運営を継続していただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	西国分寺駅南口自転車駐車場他8場	所属名	建設環境部 交通対策課
指定管理者名	株式会社 ソーリン	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	自転車等利用者の利便の増進を図り、交通の円滑化に資するため		
事業概要	自転車駐車場の管理運営		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	117,628,793	206,006,885	210,119,068	533,754,746
収入内訳				
指定管理料	115,400,483	206,006,885	210,119,068	531,526,436
利用料金	0	0	0	0
その他	2,228,310	0	0	2,228,310
支出	120,302,010	183,639,331	189,719,265	493,660,606
収支差額	▲ 2,673,217	22,367,554	20,399,803	40,094,140

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	福利厚生費の執行率が14.1%と低くなった要因は、かかりつけ医での健診を受診した人の割合が多かったためである。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書に基づき業務が実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	規則や仕様書に基づき管理運営されていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	業務遂行に必要な従業員数が確保され、統括責任者を中心とした執行体制が明確になっていた。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	必要な施設において防火管理者が確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は各施設で鍵付きキャビネットに適正に保管されていた。また、定期的な月次報告や日常的な報告も適切にされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	各施設とも、清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	各種点検については、仕様書のとおり適切に実施されていた。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	421,075	1,667,638	1,699,521	1,262,744
利用者満足度(%)	95%	93%	79%	89%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	3	過年度より利用者満足度が10%以上減少しているため、前年度より評価を下げた。特に国分寺駅北口地下の利用者満足度が大きく減少している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	アンケートで寄せられた意見等を反映した利用ガイドを新たに作成し、利用者マナーの向上に努めている。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	モニタリング調査や現場確認時に、適切な対応がなされていることを確認している。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	現場を直接管理する統括責任者と副統括責任者の2名体制により、迅速かつ適切に対処されている。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	モニタリング調査時に個人情報等の書類が、鍵付きキャビネットで適切に保管されていることを確認している。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	毎月の座学研修と、8月の集合型研修を実施している。また、年4回の場長研修も実施しており、新人研修も適宜現場で実施している。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	モニタリング調査時に、思いやりスペースの確保や積極的な声がけに努めていることを確認した。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	3	西国分寺駅南口において、スイカ決済が6時～6時半にも利用できるようになったことを確認した。	3	-
施設の特性に応じた水準の評価					

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関連する実施状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無	提案有無
					有	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無	提案有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	新たに利用ガイドを作成する等、利用者の声を反映させた運営が実施されていた。また、統括・副統括を通じて、現場のトラブルやクレームが速やかに市に共有され、適切な協力体制を築くことができた。よって、総合的に市の要求水準を満たしていると判断する。	3	3
		主管課長：交通対策課長 氏名：古谷 隆之		

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	本年度は、本業務開始から2年目となる指定管理業務を実施しました。機器設備の修繕やLED照明の設置をはじめ、利用者サービスの向上に重点を置いた取り組みを進めました。特に、国分寺駅北口地下においては出口ゲートを新たに設置したことで、一時利用者の滞留が緩和され、出庫時の混雑も解消されるなど、より円滑かつ快適なサービスの提供に努めました。こうした取り組みにより、指定管理者として国分寺市から求められる業務水準を維持し、低下させることなく遂行できたと考えております。このことを踏まえ、本年度の自己評価は「3」といたしました。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	年間で延べ170万人近くの方が利用する施設であり、利用者満足度は前年度より下がったものの、約8割の方が「良い」以上の評価をしている。ハード面の施設管理とあわせて、公の施設の管理として、接遇等ソフト面の対応をしっかりと行っていることがうかがえる。一方、アンケート結果を見ると、管理員の接遇に対して、不満の声があることも事実である。研修等をしっかりと実施していることは確認しているが、さらに利用者が気持ちよく利用することができる駐車場となるよう、対応を継続していただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	国分寺市介護老人保健施設すこやか及び国分寺市高齢者在宅サービスセンターふれあい	所属名	福祉部 高齢福祉課
指定管理者名	一般財団法人国分寺市健康福祉サービス協会	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	利用者である市民の心身機能の維持及び家族の介護負担の軽減		
事業概要	介護老人保健施設すこやか・高齢者在宅サービスセンターふれあいの事業運営及び施設・設備の維持管理を行う。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	387,646,900	386,409,540	500,386,490	1,274,442,930
収入内訳				
指定管理料	0	0	0	0
利用料金	346,555,650	356,414,138	349,142,222	1,052,112,010
その他	41,091,250	29,995,402	151,244,268	222,330,920
支出	395,875,476	412,681,985	555,943,880	1,364,501,341
収支差額	▲ 8,228,576	▲ 26,272,445	▲ 55,557,390	▲ 90,058,411

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。前年度に引き続き収支が赤字となっているが、市が負担する指定管理費は無く、「市の要求水準を満たしている」と判断した。	3	3
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書及び仕様書に基づき、適切に業務が実施された。高齢者在宅サービスセンターふれあいの通所リハビリテーションへの移行についても、滞りなく実施された。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	施設運営規程に基づき、仕様書のとおり運営が行われていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	勤務割表により勤務体制が明確化されていた。基準を上回る人員を配置しサービスの質の向上が図られているが、支出に対する人件費の比率が高くなっているため、収支悪化の要因の一つと考えられる。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者のほか、医師、看護師、介護福祉士等の有資格者を配置している。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は適正に保管し、適正に管理され、必要な報告が行われていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	日曜・祝日等を除き、委託業者が毎日清掃を行っており、施設内は清潔に保たれている。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	消防設備等法定点検のほか、各種設備点検も確実に実施され、適宜、市に報告が行われている。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 老健入所 (人)	15,882	15,805	14,936	15,541
利用者数 短期入所 (人)	1,407	1,224	1,303	1,311
利用者数 通所リハ (人)	5,350	6,290	6,670	6,103
利用者数 通所介護 (人)	2,573	2,239	907 (令和6年10月31日廃止)	1,906
利用者満足度 (%)	91.0%	92.0%	94.0%	92.3%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者満足度が94.0%で、前年度より2ポイント増加し、高い評価が得られている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	利用者や家族からの要望、意見を受け、施設の運営やサービスの向上のため適宜対応を行っている。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	利用者アンケート結果より、職員の身だしなみ・言葉遣い・対応について「悪い」の回答が無く、適切であると判断した。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	令和6年度は苦情の報告が5件あったが、適切に対処されていた。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報保護に関する規程があり、規程に基づき適切に取り扱われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	年間研修計画に基づき、職種別に外部研修・内部研修を実施していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	法律に基づき適切に対応している。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—	指摘なし	—	—
施設の水 準に応じた 評価	新規利用者獲得のための取り組みがされているか	3	市内の事業所等への営業活動や、会報誌でのPRなど、情報発信の取り組みが行われていた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選 定時の 状況内容 の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	無	提案 有無	提案 有無
					無	無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	無	提案 有無	提案 有無
					無	無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	介護保険法に基づき適切な施設運営がなされ、利用者の心身機能の維持回復及び家族の介護負担の軽減に寄与している。市民ニーズに対応するため、市内で供給が不足している通所リハビリテーションのサービス供給体制の充実に向け、令和6年11月より高齢者在宅サービスセンターふれあいの定員を介護老人保健施設すこやかで実施する通所リハビリテーションに移行したことの影響により、令和6年度の収支は大幅な赤字となった。しかしながら、職員の努力により利用者満足度も高い割合を保ち、施設に求められる機能や役割を果たしていることから、指定管理者として市の要求水準を満たしていると評価した。 引き続き市と運営法人で協議を行いながら、より効率的な事業運営に向けて検討を進める。	3	3
主管課長： 高齢福祉課長 氏 名： 荒田 理沙				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	【すこやか】 指定管理者協定書、市各種条例及び規則、介護保険法等の規程等をすべて遵守し、入所者が安全及び快適に過ごせるよう、全職員が自己研鑽を積み努力している。昨年度末に策定した業務継続計画(BCP)に基づき、自然災害時・感染症発生時に適切に対応できるよう職員周知・研修・訓練を実施した。新型コロナウイルス感染も発生したが、協力病院等との連携により対応が図られた。年間平均稼働率は入所施設89%、通所リハ63%であった。 【ふれあい】 指定管理者協定書、市各種条例及び規則等の規程等をすべて遵守し、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう、全職員が自己研鑽を積み努力している。小規模な施設で入浴や食事、人との交流といったニーズもあり、利用者が在宅での生活を快適に維持でき、かつ家族の心身負担を軽減できるよう在宅介護を支援している。10月末で通所介護施設は廃止したが、利用者の移行作業も希望等を伺い、ケアマネと連携し丁寧に対応することで、通所リハ(すこやか)への移行・利用回数増とした方10名、他の通所介護施設への移行者7名を無事に移行することができた。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	ふれあいにおいて実施していた通所介護をすこやかの通所リハビリテーションに移行するという状況変化がある中、協定書等に基づき適切に事業を実施していた。一方、収支が大きくマイナスであることについて、この施設の運営が立ち行かなくなるのではないかと心配である。 今後も利用者がサービスを受けることができるよう、施設の規模といった面からの制約もあるが、引き続き担当課との調整も行いながら事業を実施していただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	障害者センター	所属名	福祉部 障害福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 万葉の里	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	障害者の自立と社会活動への参加を促進するため。		
事業概要	相談支援事業や自立訓練等多様な事業を通じ、障害者の自立と社会活動への参加を促進する。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	436,700,354	449,104,578	486,951,962	1,372,756,894
収入内訳	指定管理料	235,323,900	243,263,000	723,732,900
	利用料金	4,044,216	4,095,298	12,280,415
	その他	197,332,238	201,746,280	636,743,579
支出	423,577,534	460,053,400	490,277,071	1,373,908,005
収支差額	13,122,820	▲ 10,948,822	▲ 3,325,109	▲ 1,151,111

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	業務の履行について、収支計画に基づき適正に執行されている。収支差額赤字の要因は、利用率低下によるもの及び「居住支援特別手当」の対象外職員への拡大支給による。	3	3
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書及び事業計画書に基づき、適正に実施されている。	4	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	協定書に基づき適切に守られている。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	事業運営に必要な人員が概ね確保されているが、短期入所・日中一時支援事業えんじゅ等介助人確保に苦慮している事業も一部見受けられた。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	管理運営に必要な有資格者を配置している。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は適正に保管されており、協定書等に基づき必要な報告がなされている。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	委託事業者による清掃及び職員による定期的な清掃により、清潔の保持に努めている。また、状況に応じて必要箇所の消毒を実施し、感染症予防に努められている。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	法令上求められている点検を確実に実施している。また、包括施設管理の運用も順調に行われている。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	延べ利用者数:27,560人 利用率79.6%(一部)	延べ利用者数:27,664人 利用率82.7%(一部)	延べ利用者数:30,246人 利用率82.7%(一部)	延べ利用者数:28,490人 利用率81.5%(一部)
利用者満足度(%)	82.6%	85.0%	87.2%	84.9%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	「第三者評価」及び「利用者アンケート」の結果から、前年度、前々年度より満足度は増加しており、8割以上の高い水準を維持している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	利用者会議、利用者自治会、家族会、活動報告会等を開催し、利用者の声をききながら、事業を企画立案し、実施している。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	法人作成の育成マニュアルを活用し、社会人・支援者として求められることを示し、共有を図っている。また、必要に応じて個別指導や研修を行っている。	3	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	苦情解決委員会に該当する案件はなく、寄せせた意見についても改善に向けて取り組んでいる。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	過去の事例を踏まえ、個人情報の取り扱いについて、課長会議等を中心に振り返りを行い、現場職員への周知、再発防止に努めている。	2	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	体系的に職員研修が実施されており、組織の人材育成や支援力の向上に取り組んでいる。特に、医務研修に力を入れ、スキルアップを目指している。	4	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づき、適切な運用が図られている。また、人工呼吸器装着の方の単独通所に継続的に取組んでいる。	4	3
	業務の改善が図られていたか（※改善の指摘事項があった場合のみ記載）	3	モニタリングにおける指摘事項について事業ごとに共有を図り、次回モニタリングまでの間に改善、その都度報告を行っている。	3	3
施設の特長に応じた水準の評価	虐待防止の取組	4	「心理的安全性」をテーマに研修を継続的に実施するなど、虐待が起こらない職場環境の徹底を目指している。	4	4
	人材育成の取組み	4	高齢化や重度化、医療的ケアが必要な方への対応強化に向け、医務研修の継続やフォローアップを通じて職員のスキルアップに取り組んでいる。また、職員には定期的な面談を実施し、人材育成に努めている。	4	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること（提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること）。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関連する実施状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか（一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む）	無	提案有無	提案有無
					無	無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか（一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む）	無	提案有無	提案有無
					無	無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	全体として、協定書及び事業計画書等に基づき適正な運営が行われている。利用者満足度や安心安全なサービス向上を目指し、障害者及びその家族へ丁寧な対応に努めるとともに、特に高齢化や重度化、医療的ケアが必要な方への対応強化の取組として、人材育成に注力している。今後も、これらの取組を継続し、市の障害者支援の中核施設としての役割を期待する。	3	3
		主管課長：障害福祉課長 氏名：宮外 智美		

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	条例、指定管理協定、事業計画、収支予算書に基づき適正に運営を行った。サービスを必要とする市民が安心して利用できるようサービス向上に努め、更なる利用者満足につながるよう取り組んでいる。力を入れてきた利用者の高齢化・重度化と医療的ケアを必要とされる方の受入体制整備の強化に引き続き取組んだ。また、令和8年度以降に控えている大規模修繕に向けて、障害福祉課と協議を重ね、課題整理に取り組んでいる。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	指定管理業務について、丁寧に取り組んでおり、人材育成についても積極的に推進していることがうかがえる。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、施設を清潔に保ち、適時消毒を実施するなど、安心して利用できるよう努めている。アンケート調査において、例えば生活介護の問11、12及び14について、相対的に「はい」と回答した割合が低くなっており、気になる点である。担当課とも情報共有しながら事業を継続していただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	国分寺市プレイステーション	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人冒険遊び場の会	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設の設置目的	青少年の健全育成を図る。		
事業概要	青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場として、国分寺市プレイステーションを運営する。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	30,783,649	34,270,133	41,274,478	106,328,260
収入内訳	指定管理料	30,108,105	34,170,000	104,076,893
	参加費	80,500	88,600	242,100
	その他	595,044	11,533	2,009,267
支出	30,783,649	34,270,133	40,832,572	105,886,354
収支差額	0	0	441,906	441,906

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づく執行状況は、適正であった。人件費は、常勤職員1名の退職があり、時間給プレイリーダーを常勤として起用し体制を整えていた。その退職常勤分の執行は下回ったことを確認した。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	業務日誌、シフト表等の確認の結果、計画どおりに協定書に基づき、施設の特性と利用者の年齢に配慮して、業務が適切に実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	今年度より、施設の開園時間が延長され、平日20時までの中高生世代の受入れ及び平日18時までの小学生以下の受入れとなったが、シフト編成を工夫しながら、開園予定日数及び時間を守って運営していた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	今年度より、冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進についての事業が指定管理業務に組み込まれたが、各取組ごとに必要な職員を適正に配置させ、その職員体制は、シフト表で明確に示されていた。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を置き、危機管理マニュアルを作成し、毎月ごとに火災・地震・不審者想定避難訓練を行っていた。自治会主催の救命救急研修に参加し、職員間で共有していた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	各種項目ごとに書類がわかりやすくファイリングされており、鍵のかかるキャビネットに格納され、適正に保管されていた。必要な報告は、遅滞なくされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	物品等が整理整頓され、掃除も行き届いており、清潔感が保たれていた。土日カフェ・夕暮カフェ事業の調理場も清潔に保たれていた。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	機械警備と空調洗浄等の清掃について、仕様書に基づき事業者と委託し確実に実施されていた。法定点検については、施設所有事業者による点検を行っていることを確認した。	3	—

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数	25,096人	25,574人	25,392人	25354人
利用者満足度(%)	96%	97%	97%	97%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	5	利用者アンケートでは、子どもからのアンケートの「楽しかった」の項目が97%、再度利用したいの項目は「また来たい」が98%、大人からは100%が「楽しかった」と回答している。自由記述では、子どもから、毎日やってほしい、楽しい場所、という施設のことが好きであるという感情が伝わってくるものであった。大人からもスタッフへの感謝の言葉などの肯定的な言葉をいただいている。	5	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	5	アンケート、利用者懇談会等により寄せられた利用者の声を受け止め、サービス向上に繋げていた。また、施設内にポストを設置し、利用者が意見を述べやすい環境を整えるとともに、意見の一つ一つに対し、利用者の目線・立場に立った解りやすい回答を示し、掲示していた。ポストの利用者は子どもが主であり、子どもの意見を聞く仕組みが構築されていること、全ての意見に対し温かな回答がなされている等、子どもの心に寄り添う姿勢を高く評価する。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	来園者に対し、明るく声掛けがあり、事業内容に応じた服装となっている。利用者アンケートからスタッフの気遣いがいつもうれしい、という記述をいただいており、利用者に安心を届けている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	4	近隣より、施設からのごみ及び投石の注意をいただいた。市への報告とともに、境のフェンスでは足りないため、ネットを張り対処した。子どもたちへの啓発に、注意の看板を取付け、対応したことの報告とお詫びを迅速に行っていた。	4	4
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報のある書類は整然とファイリングされ、鍵のかかる場所に適切に保管されており、パソコンのパスワードは3か月ごとに変更し、セキュリティ意識をもって取り扱っていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	5	計画的に業務に必要な研修が実施されていた。欠席者には研修資料のレポート提出を義務付けており、職員の知識やスキルに偏りが出ないような取り組みがなされていた。施設を利用する団体に、放課後デイサービスの利用が多く、今年度はその点を意識し配慮を要する方へのサポート講座を取り入れていた。	5	5
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	5	今年度、職員に必要な研修として、他市特別支援学校の講座を受講し、障害者への対応等に関して学び、実際の利用者へ配慮した対応を心がけていた。特性を持つ児童の対応では、背景を理解し、関係機関とも連携を取りながら、児童がその子らしくいられることを尊重して対応していた。施設内の設備や遊具についても、肢体等に障害のある利用者が安全に遊ぶことのできるよう配慮がなされている点も評価する。	4	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設水の準の性に 評価に 応じた	地域における青少年の健全育成と子育て支援に関する取組について、関係機関等と連携し、多様な事業展開がされている。	5	地域での子育ての推進を目的に、3組の子育てサークルを年間をとおして受け入れ、孤立しがちな子育ての中における仲間づくりのための声掛けなども行い、子育ての支援を行っていた。親子ひろばや土日カフェをとおして、日常の中の関わりの中で虐待防止の観点を持ち、楽しみの環境を持ちながら保護者にリフレッシュできる場として提供していた。駄菓子屋の開設では、子どもたちによる駄菓子の販売だけでなく、日々の子どもたちの声から、親子ひろばへの出張販売を行うことで乳幼児への絵本や紙芝居の読み聞かせが行われ、乳幼児との遊びも日々の中で行われ、母親たちも一緒に小学生との交流を楽しみ、多世代交流が生まれ、地域における青少年の健全育成へと展開されていた。学校に行っていない児童の利用にも、日々の子どもの遊びには職員がしっかりと向きあい、彼らが通える居場所となっていた。	—	—
	プレイリーダーの育成に関する講習会等は効果的に実施されているか	4	第1回目は6月30日に、フィールドワーク「コリントゲーム」を作って子どもの遊びを体験しようというテーマで実施し、大人が思考錯誤して作る楽しみに興じるうちに子どもが夢中になって遊ぶ感覚を掴み共感することを実感して学ぶ機会を提供していた。第2回目は、2月2日に、講座「子どもに必要なのは遊び？勉強？習い事？」を実施し、常勤プレイリーダーを講師とし、ありのままの子どもを受け止める現場での体験を聞き、多方面で子どもと関わる立場や子育て中の方等の参加者が、子どものありのままを受け止めることの大切さと難しさを学ぶ機会を作っていた。好評につき、次回へ持ち越す方向となり、地域に子どもたちの育ちを支える大人を増やす目的を果たしていた。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度		前々年度	
関実提案選定時の状況内容に	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案有無	有	提案有無	有
					実施有無	有	実施有無	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案有無	有	提案有無	有
					実施有無	有	実施有無	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
5	市の要求水準を大幅に上回っている	令和6年度においても本施設は、土や水などを使った遊びをはじめ、木工、炭づくり等の火を使った体験、ひみつ基地づくりなど、他では体験できない自然や野外での様々な学びができる遊び場を利用者とともに創意工夫しながら作り上げていた。利用者の満足度も非常に高く、また、全ての利用者に対し、真っすぐに粘り強く向き合うなど、居場所の提供に留まらず、青少年の健全な育成にも大きく寄与していた。 子どもが店員として仕事を体験できる「駄菓子屋」、中・高校生世代が自ら居心地のいい場を作っていけるようにしている「夕暮れカフェ」、及び子育て中の親子の交流の場としている「土日カフェ」にも、引き続き取り組んでいる。当該事業の開始後、全体的な利用者が増加するなど、乳幼児親子から中高生世代まで幅広い世代の遊び・くつろぎ・交流の場所として機能していることを捉えることができた。 また、施設内にポストを設置し、利用者が意見を述べやすい環境を整えるとともに、意見の一つ一つに対し、利用者の目線・立場に立った解りやすい回答を示し、掲示していた。ポストの利用者は子どもが主であり、子どもの意見を聞く仕組みが構築されていること、全ての意見に対し温かな回答がなされている等、子どもの心に寄り添う姿勢を高く評価したい。 肢体等に障害を持つ利用者への配慮も、設備や職員の意識啓発等適切であり、子どもの好奇心を妨げない運営方針を掲げつつも、大きな事故がない点も、高い安全管理能力の現れであるとして高く評価する。 今後も引き続き、安全管理には十分留意しながら、効果的な施設の管理・運営に努められることを期待したい。	5	4
主管課長：子ども子育て支援課			氏名：山元 めぐみ	

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	・今年度は、親子ひろばの利用者は9,542人で、前年度より全体で1,025人減少した。その内訳は、子ども487人、大人538人の減少だった。プレイステーション全体の利用者は、イベントを除き、25,392人だった。昨年度と比べ、幼児が622人、大人は878人が減少した。しかし、小学生は735人、中学生は583人の増加があった。利用数としては、親子ひろばの利用者が減少したことに関連する形で、プレイステーションも親子の利用が減少した。乳幼児親子は保育園に、1歳2歳から入ることに加え、2歳児から入ることができる幼稚園が増加したため、平日の親子ひろば利用者の子どもの年齢層は、0歳1歳が中心になっている現状がある。 ・プレイステーションは、駄菓子屋、土日カフェの効果もあり、土曜日の利用者はとても多く、利用者増加に伴い、安全確保のためにプレイリーダーを加配しての活動を行った。また、その人数に加え、夕暮れカフェでの中学生は、1,817人の利用があった。夕暮れカフェ開設前は中学生の利用がとても少なかったもので、格段に増加し、中学生の居場所として機能し始めている。1年を通じておこなった「駄菓子屋」「夕暮れカフェ」の活動が、小学生、中学生にとつての、いい居場所となり、「土日カフェ」の活動が土日親子のいい居場所になっている。 ・利用者アンケート(1ヶ月間実施)からは、プレイステーションの満足度は、大人100%、子ども97%、親子ひろばは、93%であった。自由記述欄からは、プレイステーションや親子ひろばの存在価値や良さが多く述べられていた。 ・アンケート結果からは利用者の満足度が高かったが、学校に行っていない子や、家庭などに様々な事情を抱えた子どもたちが多く遊びに来ていることから、0歳から17歳までの子どもたちが来る遊び場としては、全ての利用者に満足いく形での運営の難しさも抱えているのも事実である。今年度は、学校に行っていない小学生が毎日10時から18時まで利用しており、感情をコントロールすることが難しいことが日々あり、年間通じて、職員間の話し合いを多く持ちながら、担当課、学校とも話し合いを重ね、対応をおこなった。さまざまな事情を抱えた子どもたちが来ることができる居場所としてのプレイステーション、そして、全ての子どもたちにとつても、よりよいプレイステーションのあり方を考えながら活動をおこなった1年だった。多くのスタッフが勤務するプレイステーションとしては、全スタッフが同じ方向を向いて子どもに対応することが必要なため、日々の日誌、朝会、振り返りでスタッフ間で確認するとともに、会議の中で全スタッフで話し合い、研修をおこない、年間通じて、日々、真摯に向き合ってきた1年間だった。	5	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
5	市の要求水準を大幅に上回っている	利用者満足度について、引き続き高い割合を維持している。子どもたちに対する対応をすることと併せて、子どもたちに遊び場を提供するプレイリーダー育成にも積極的に取り組んでいる。 青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場を提供していることから、施設には様々な子どもたちが遊びに来る。そのため、トラブルが起こることもあり、すぐに解決しないような状況においても、時間をかけてしっかりと対応をしている姿がうかがえる。これら子どもに対する向き合い方について、高く評価する。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	いきいきセンター	所属名	健康部 健康推進課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズ coop・センター事業団	指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日
施設の設置目的	高齢者等(40歳以上)の健康保持及び増進を図るため。		
事業概要	高齢者等(40歳以上)の健康保持及び増進を目的に健康づくりの場を提供する。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	8,349,431	8,326,000	8,426,103	25,101,534
収入内訳				
指定管理料	8,226,000	8,326,000	8,426,000	24,978,000
利用料金	0	0	0	0
その他	123,431	0	103	123,534
支出	8,328,845	8,139,557	8,353,111	24,821,513
収支差額	20,586	186,443	72,992	280,021

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画書通りに執行された。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定・企画提案書通りに実施され、適正に管理を実施した。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	開館予定日数・開館時間共に守られた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	従業員数が適正に確保され、執行体制が明確になっていた。また、予約システムによる抽選確定日や先着予約初日には、人員を強化して配置している日もあった。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	指定管理者の担当者が防火管理者も担っており、事業計画書の人員配置計画通りの人員として確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	4	書類は適正に保管され、事業計画書、事業報告書等も、迅速に提出がされていた。また、アンケート結果の報告では、概要版も作成し、施設に掲示されていた。	4	4
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	清掃回数を仕様書上の週2回から原則週3回に増やし、施設全体が清潔に保たれている。利用者アンケートの結果より、「ホール」は満足度が9割以上、「トイレ」は満足度が8割以上保たれており、市の要求水準を上回っている。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	指定管理者による日常点検を全開館日実施。また、建物所有者である東京都住宅供給公社による消防設備点検は、2回実施。(9、3月)	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	12,573人(延べ人数) 1,117件 80.0%	11,353人(延べ人数) 1,063件 74.4%	11,373人(延べ人数) 1,052件 73.4%	11,766人(延べ人数) 1,077件 75.9%
利用者満足度(%)	94%	89%	94%	92%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	回答者の94%が満足(「満足」「どちらかといえば満足」の回答者の合計)と回答し、高い評価を得ている。利用者からのコメントも概ね満足頂いている意見となっている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者アンケートの集計後に研修を行い、再度接遇に関しての基本を徹底した。また、サービス向上等を目的とした研修を3回実施し、業務に生かしている。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの結果では、窓口対応の5項目において9割以上が満足と答えており、昨年同様に高い評価となっている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	令和6年度も、昨年度に引き続きクレームは発生していない。クレームが発生した場合にも対応できるよう、苦情対応の研修等を行っている。またマニュアルも現場に配置しており、適切に対処できる環境が整っている。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	市の個人情報の取扱いに準じて、指定管理者が定めた個人情報保護対策に基づいて対応しており、個人情報については、適切に取り扱われている。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	認知症、障がい者対応研修、消防・防災・防犯訓練等、必要な研修が実施された。消防・防災・防犯訓練では、火災発生時の対応や不審者侵入時の緊急対応について実践及び座学で確認を行った。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等に準じたマニュアルを作成し、合理的配慮を意識し対応している。また、これに関する研修も実施している。	4	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—	指摘事項無し。	—	—
施設の特性に応じた水準の評価					

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関連する状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有	提案有無 有
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有	提案有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有	提案有無 有
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有	提案有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は94%となっており、施設利用率も高水準を維持している。指定管理期間内に実施すると提案のあった、介護予防祭り(いきいきセンターまつり)を地域包括支援センターと連携の上実施し、利用者数向上への努力も見られた点も評価できる。また、利用者層の拡大に向けた取り組みとして、自主事業の実施にあたり、引き続き40～60歳代も参加可能なプログラムも行い、参加者も増加している。来年度も、より幅広い利用者層獲得に向けて、さらなる努力に期待したい。	4	4
主管課長：健康部健康推進課 氏名：占部 英一				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	令和6年度は、指定管理者応募の際の企画提案書の中で提案させていただいた指定管理期間中の「介護予防まつり」について、具体的な対応企画を計画し実行することができました。今まで福祉関連の機関と協力して自主事業を計画することはありませんでしたが、市高齢福祉課、地域包括支援センターこいがくぼとの連携により「いきいきセンターまつり」として実施することができ、参加者からは喜んでいただいたお声をいただきました。施設アンケートの中の窓口対応においては、あいさつ、言葉遣い、受付態度等は前年を上回る満足度となっており、全体の満足度においても、94.1%(前年+5.1%)の利用者に、満足・どちらかという満足と評価していただきました。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	研修について積極的に実施し、AEDの使用、通報、消火活動等を全員が対応できるようにしており、利用者にとってより安心して利用できる施設となっている。さらに、利用団体との関係性も構築されており、大きな苦情はなかった。 一方、以前から課題となっている40代、50代の利用者増加については、努力は見えるものの十分な結果につながっていない。制約がある中だと思うが、担当課とも調整しながら、対応を引き続き継続していただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	国分寺市体育施設	所属名	市民生活部 スポーツ振興課
指定管理者名	日本管財・TAC共同事業体	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	スポーツ振興、市民の健康づくり、青少年の健全育成、競技力向上等のため		
事業概要	施設や設備、物品等の維持管理及び安全に関すること。施設の使用承認や使用料の納入に関すること。スポーツ振興事業に関すること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	209,528,729	257,546,141	253,732,372	720,807,242
収入内訳				
指定管理料	164,219,162	209,965,000	208,840,000	583,024,162
利用料金	40,712,950	43,241,141	44,875,775	128,829,866
その他	4,596,617	4,340,000	16,597	8,953,214
支出	232,239,224	273,400,019	266,968,208	772,607,451
収支差額	▲ 22,710,495	▲ 15,853,878	▲ 13,235,836	▲ 51,800,209

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	概ね収支計画書に基づき適正に執行されていた。光熱水費について、供給会社の変更等を行い収支の改善を図ったが、全体的な改善には至らなかった。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定書、仕様書等に基づき確実に実施されていた。オリンピック・パラリンピックレガシー創出事業をはじめ、様々なスポーツイベントを実施した。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	条例・施行規則に基づき開館していた。また、市民室内プールでは夏期早朝営業を実施することで、利用者の施設利用の機会を増やした。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	適切にシフトを組み、必要な人員が確保されていた。また、統括責任者を中心に、市民スポーツセンター・市民ひかりスポーツセンター・市民室内プールの各責任者が連携し、全職員への指示系統が明確になっていた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	仕様書に基づき有資格者を配置し、施設の管理運営を実施していた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は適正に管理され、また、協定書・仕様書等に基づく書類提出は不備なく実施されていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	各施設の老朽化は進んでいるが、定期清掃を行っており、清潔さは保たれている。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	年間計画に基づき、法定点検は確実に実施された。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	407,206人 25,342件 72.9%	433,744人 25,582件 73.1%	448,883人 25,321件 73.1%	429,944人 25,415件 73.0%
利用者満足度(%)	施設 62.8% 教室 82.7%	施設 72.9% 教室 82.4%	施設 71.5% 教室 81.5%	施設 69.0% 教室 82.2%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者の施設についての総合的な満足度は7割を超えている。また、自主事業の教室についての総合的な満足度は8割を超えており、高水準となっている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者の声を、意見箱を設置して収集し、適宜施設運営に反映させていた。また、内容について主管課に迅速に共有し、サービスの向上に繋げていた。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	接遇研修等を実施し、礼節維持に努めている。職員の接遇等についての利用者からの苦情は、事実確認を行い、迅速に指導を行っている。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	クレームがあった際は適切に対応しており、迅速に報告もされている。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報に関する内部研修を実施している。また、施錠可能な棚に保管する等、個人情報の取り扱いは適切に行われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	体育施設運営において重要な危機管理研修や施設維持管理研修等をオンラインも含めて実施した。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	筆談用具や車いす洗浄機の設置等、障害者等への合理的配慮を適切に行っている。また、必要に応じ簡単な介助等に応じる等、利用者が利用しやすい施設運営を心がけていた。	4	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設水の準の性 評に 価 応 じ た	地域貢献の実施	4	毎月休館日に実施する施設周辺美化活動のクリーンウォークや、中学生による取材の受け入れ等、地域貢献活動を実施した。	4	4
	地域ネットワーク活動	4	スポーツ推進委員スポーツイベントへの指導者派遣や、市の事業等への参加など、地域ネットワークの拡充を図った。	4	4
	スポーツイベント等の実施	4	パラスポーツも取り入れた様々なイベントを実施した。また、市が主催するイベントにも、積極的に協力した。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有 無	実 施 状 況	有 無	前年度		前々年度	
関実提案 す施案 る状内 況容 価の 選 定 時 の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	有	提案 有無	有
					実施 有無	有	実施 有無	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	有	提案 有無	有
					実施 有無	有	実施 有無	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	施設管理について、点検や検査を適切に実施、修繕についても軽微な箇所については指定管理者で行い、スポーツ環境の維持管理に努めていた。自主事業やイベントを積極的に実施したことにより、体育施設の利用人数の増加に繋がっている。窓口対応や利用者・近隣住民からの苦情等についても丁寧な対応を行っている。以上のことから、施設維持管理及び運営両面において、市の要求水準を上回っていると評価する。	4	4
主管課長：市民生活部スポーツ振興課長 氏名：岡田 周作				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	施設管理面での点検・検査等は履行できた。運営面ではコロナ前の利用状況に戻る傾向があり、その反映として収支面でも改善が見られた。スポーツイベントではダンボール迷路など新たなイベントに挑戦した。地域活動は可能な範囲で実施した。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	年間延べ約45万人が利用している施設であるが、苦情も少なく、また、事故等も無く、日頃から丁寧に施設の運営を行っていることがうかがえる。また、日々の体育施設の管理運営と併せて、地域に根差した施設であるため、周辺の美化活動や市の事業への参加等を行っていた。引き続き安全面に配慮し、市民を含めた利用者にとって親しみのある施設であるよう、日常的な業務を確実に遂行していただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	国分寺市民戸倉野球場	所属名	市民生活部 スポーツ振興課
指定管理者名	日本管財・TAC共同事業体	指定期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
施設の設置目的	スポーツ振興、市民の健康づくり、青少年の健全育成、競技力向上等のため		
事業概要	施設や設備、物品等の維持管理及び安全に関すること。施設の使用承認や使用料の納入に関すること。スポーツ振興事業に関すること。		

単位:円

	令和6年度	年度	年度	累計
収入	792,700	0	0	792,700
収入内訳				
指定管理料	530,000			530,000
利用料金	262,700			262,700
その他	0			0
支出	490,707			490,707
収支差額	301,993	0	0	301,993

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	概ね収支計画書に基づき適正に執行されていた。	—	—
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書、仕様書等に基づき確実に実施されていた。	—	—
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	条例・施行規則に基づき開館していた。	—	—
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	適切にシフトを組み、必要な人員が確保されていた。	—	—
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者の設置は不要だが、普通救命講習を受講した人員を配置し、運営にあたった。	—	—
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	適正に保管され、市民スポーツセンターへ適宜報告を行った。	—	—
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	老朽化は進んでいるが、定期清掃を行っており、清潔さは保たれている。	—	—
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	—		—	—

	年度	年度	年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	19,103人 1,106件 74.1%			
利用者満足度(%)	12.5%			

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	3	施設老朽化に伴い総合的な満足度は、やや満足、ふつうという回答を合わせて5割である。	—	—
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者の声を、意見箱を設置して収集し、適宜施設運営に反映させていた。また、内容について主管課に迅速に共有し、サービスの向上に繋げていた。	—	—
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	接遇研修等を実施し、礼節維持に努めている。職員の接遇等についての利用者からの苦情は、事実確認を行い、迅速に指導を行っている。	—	—
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	クレームがあった際は適切に対応しており、迅速に報告もされている。	—	—
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	施錠可能な棚で保管を行い、随時館長が回収し、市民スポーツセンターで適切に処理を行っている。	—	—
	業務に必要な研修を実施していたか	3	管理人に対し普通救命講習を実施している。	—	—
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	必要に応じ簡単な介助等に応じる等、利用者が利用しやすい施設運営を心がけていた。	—	—
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の特性に応じた水準の評価					

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関連する実施状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案有無	提案有無
					実施有無	実施有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案有無	提案有無
					実施有無	実施有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	施設管理について、グラウンドの整備や清掃業務を適切に行い、スポーツ環境の維持管理に努めていた。利用者・近隣住民の対応についても、丁寧な対応を行っている。以上のことから、施設維持管理及び運営両面において、市の要求水準を満たしていると評価する。	—	—
		主管課長：市民生活部スポーツ振興課長 氏名：岡田 周作		

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	施設管理面・施設運営面では近隣対応も含め問題なく指定管理業務を実施できたと考えます。	—	—

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	前年度からの引き続きとなるが、指定期間としては令和6年度1年間であった。野球場単体での指定管理となったが、これまでの経験を生かして施設管理を行った結果、苦情も無く、1年間を通して安定した運営ができていたと考える。	—	—

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	ひかり児童館、第一・第二・第三・第四光町学童保育所、第三泉町学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 明日葉	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	132,904,745	131,230,959	132,963,506	397,099,210
収入内訳	指定管理料	129,431,650	127,721,659	129,620,591
	利用料金	0	0	0
	その他	3,473,095	3,509,300	3,342,915
支出	135,528,307	139,732,634	135,010,648	410,271,589
収支差額	▲ 2,623,562	▲ 8,501,675	▲ 2,047,142	▲ 13,172,379

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
画 収 確 の 支 性 適 計	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	加配職員は引き続き見込みより多く必要となったが、過去2年間より消耗品費等を節約したり、適切な職員配置への見直し等を行い、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書について各施設職員が内容を把握し、それに基づき業務が実施されていた。提案している自主事業についても計画に沿って実施していた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	条例に基づく開館日、開館時間は遵守されていた。平日利用できない利用者のため、日曜日開館を自主事業として年3回実施する、放課後プランにて出張児童館を実施するなど、市民参加の機会を高水準で確保している。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	必要な職員・支援員等を適切に配置し、日々の運営も基準を十分に満たした職員配置をすることで、児童の安全を確保していた。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	1月の職員配置変更により第三第四光町学童の防火管理者は不在となったが、隣接する施設の防火管理者が点検等行うとともに、早急に資格取得の対応を進めている。放課後児童支援員および、認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	4	書類は施設できる書棚に保管するなど適正な管理をしており、事務室内は書類が整理整頓されていた。情報共有についても、毎日の終礼や、できごと共有ノートを職員全員の確認欄を作るなど工夫されていた。	4	4
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	日常業務の中で日常保守点検チェックシート等により職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。児童館工作室の整理や、幼児室のチラシやポスターの整理、館室の窓の装飾なども行い、こまめに施設整備していた。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	保守点検業務委託等の計画に基づき、各種点検等が実施されていた。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	ひかり児童館 24,539人	ひかり児童館 30,729人	ひかり児童館 31,347人	ひかり児童館 28,872人
	第一光町学童 59.7%	第一光町学童 59.3%	第一光町学童 71.9%	第一光町学童 63.6%
	第二光町学童 71.1%	第二光町学童 80.6%	第二光町学童 67.8%	第二光町学童 73.2%
	第三光町学童 53.4%	第三光町学童 74.9%	第三光町学童 113.8%	第三光町学童 80.7%
	第四光町学童 39.0%	第四光町学童 49.0%	第四光町学童 100.9%	第四光町学童 63.0%
	第三泉町学童 88.3%	第三泉町学童 89.3%	第三泉町学童 93.2%	第三泉町学童 90.3%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	ひかり児童館 90.0%	ひかり児童館 96.0%	ひかり児童館 90.0%	ひかり児童館 92.0%
	第一光町学童 100.0%	第一光町学童 100.0%	第一光町学童 95.9%	第一光町学童 98.6%
	第二光町学童 93.6%	第二光町学童 100.0%	第二光町学童 95.8%	第二光町学童 96.5%
	第三・第四光町学童 94.7%	第三・第四光町学童 97.4%	第三・第四光町学童 84.5%	第三・第四光町学童 92.2%
	第三泉町学童 100.0%	第三泉町学童 100.0%	第三泉町学童 96.0%	第三泉町学童 98.7%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートを10月に実施。全体に対しての満足度において、92.4%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、前年よりは下がっているが引き続き高い水準を維持していた。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	要望を受け児童館での日曜開館やお誕生日会を実施、2階テラスの整備を行い、学童も工作を月2回実施したり、校庭遊びの時間を工夫し学校施設の借用等狭隘状況の緩和を行った。学童では配食サービスの実施や月1回の手作りおやつを実施した。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、91.6%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、前年度よりは下がっているが引き続き高い水準を維持している。児童館職員へのご意見については、研修や指導など適切に実施していた。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	第三第四光町学童にて苦情が2件あったが、その後適切に対応し問題を解決しており、保護者にも丁寧な説明を行っていた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	事業者独自で個人情報研修を実施し、個人情報が記載された書類やパソコンについては、施錠できる書棚に保管し適切に管理していることを確認した。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	従事者育成に係る研修計画に基づいた各種研修の実施がなされていることを確認した。研修受講後の資料を事務室内で管理し情報共有していた。オンライン研修だけでなく、嘔吐処理研修など実地研修も独自で行った。都の学童責任者研修なども積極的に受講していた。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	事業者独自で要配慮児童および障害児に関する研修を実施し、日々のミーティングで児童の様子を共有、確認することによって、個々の特性に合った声掛け等工夫し他児との関わりの機会を大切にしていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の 水の 準の 性 の 性 に 価 に 応 じ た	自然災害等への対応	4	避難訓練は原則毎月実施した。児童館では、公民館との合同避難訓練を実施、児童と一緒に地震時の危険箇所確認を行った。学童では、設置事業者による非常通報装置訓練や防災に関するクイズ等も実施した。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	複合館の利点を生かし、公民館・図書館との共催行事の実施や交流行事を企画実施した。児童館は、日曜開館日に関係機関と連携し子育てに関する講座を実施、また出張児童館として放課後子どもプランにてイベントを月1回程度実施した。学童も積極的に放課後子どもプランに参加し連携していた。	4	3
	配慮を要する児童への対応について	4	学童では、引き続き加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置。保護者とは個人面談等で、関係機関とは学校公開等に参加し、積極的に連携し児童の様子を共有していた。前年度に引き続き毎日昼礼等でおやつ成分表の読み上げを行っていた。新しいおやつ提供時は保護者に成分表を渡していた。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案 する 状況 評価 の 選 定 時 の 内 容	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施 有無	実施 有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
		有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	実施 有無	実施 有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	指定管理期間3年目となり、消耗品費等を節約したり、適切な職員配置への見直し等を行い、前年度よりも適切な執行管理を行っていた。自主事業などもより積極的に行い学童保育所でのイラスト教室オンライン講座や、児童館でのパパといっしょという季節のイベントを令和6年度より実施した。市への報告も遅滞なく適切になされるなど、安定した施設の管理・運営がなされていた。また、引き続きアンケートや利用者懇談会等での利用者の要望等を迅速に対応しサービスの向上に努めていた。アンケートでのご意見には真摯に答え、職員教育なども適切に行っていた。 児童館については、中高生向けのイベントも新たに実施するなど、来館者増につながる取組が実施されていた。また、公民館等との合同行事としてわいわいまつりや、ハロウィンのときのイベント協力など併設館を生かした活動も実施できていた。 学童保育所については、苦情が2件発生してしまったが、その後速やかに改善策を講じ、保護者会等で説明するなど丁寧に誠意のある対応を行っており、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。 今後も引き続き、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた効果的な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	今年度は指定管理3年目となりました。3年目は、児童の健全育成にかかる必要な行事は引き続き実施し、利用者アンケートやこどもたちからの声を反映させて新たな自主事業も始めました。今年度は今まで以上に近隣施設や地域と連携していくことを目標としていました。少しずつ地域との関係性も築けてきたことで、こどもの様子の共有や共催行事の実施等、活動の幅を広げることができたと思います。感染症の制限も緩和されてきたことで、児童館ではコロナ禍前に実施していた飲食を伴うイベントの再開もしました。利用者の声に耳を傾け、需要に合ったイベントを引き続き実施していけるよう、来年度はさらにブラッシュアップした内容を検討していきたいと思っています。 児童館の一部職員の利用者への対応や学童保育所での苦情等、事案発生時には所管課への報告・本社マネージャーへの報告・保護者への説明と謝罪を迅速に対応しました。研修の実施や日々の振り返りで、職員1人1人の意識を高めて再発防止に努めます。 学童保育所の保育については、共育パートナーとしてこどもたちの成長を見守り、喜びを共有することができました。引き続き安心・安全な保育を行えるよう各施設職員の意識向上に努めていきたいと思っています。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	指定管理者の自己評価票には、 Consent 周りを月1回清掃していることが記載されており、火災から子どもたちを守るため、目立つことではないが、やるべきことをきちんと行っていることは素晴らしいと感じる。このことに限らず、計画書や報告書の記載内容から、細かいところまで気を配って管理運営をしていることがうかがえる。障害児の対応も含め、保護者とのコミュニケーションも丁寧に行っており、より良い保育を行うため、信頼関係の構築に努めていることを評価する。	4	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一・第二・第三日吉町学童保育所及び西恋ヶ窪学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団	指定期間	平成6年4月1日～令和11年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	124,444,169	123,998,483	125,407,928	373,850,580
収入内訳				
指定管理料	122,094,180	120,889,942	122,321,376	365,305,498
利用料金	0	0	0	0
その他	2,349,989	3,108,541	3,086,552	8,545,082
支出	123,535,081	123,103,078	124,111,371	370,749,530
収支差額	909,088	895,405	1,296,557	3,101,050

※令和4年度と令和5年度の収入・支出は、別事業者の第二・第三日吉町学童保育所の収支も含めて計上。

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	育成日誌、シフト表、毎月の事業報告書等の書類及び現地調査の結果、協定等に基づき、業務が適切に実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	育成日誌、シフト表、毎月の事業報告書等の書類及び現地調査の結果、開所日、開所時間は遵守されていた。導入した入退室管理システムを活用し正確に児童の登降所確認を行っていた。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	育成日誌、シフト表等の書類や現地調査の結果、協定書上の必要な職員・支援員を配置し、基準を満たして運営していた。	3 二三日吉4	3 二三日吉4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保し、施設内に掲示していた。放課後児童支援員及び認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は、施錠の上キャビネットに保管し、適正に扱っていた。協定書・仕様書に定められた必要な報告は、遅れることなく市に報告されていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	全ての施設が衛生面に配慮しており、水回りなど汚れやすい場所は重点的に清掃を行い、施設全体が清潔で明るい環境づくりを行っていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	仕様書に基づいた保守点検業務は遅滞なく実施され、各点検報告結果も整然と保管されていた。	3	3

※第二・第三日吉町学童のみ別事業者だったため、数字に「二三日吉」としているものは、第二・第三日吉町学童のみの評価。他項目は同評価。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	第一東恋ヶ窪学童 79.0%	第一東恋ヶ窪学童 92.9%	第一東恋ヶ窪学童 107.0%	第一東恋ヶ窪学童 93.0%
	第二東恋ヶ窪学童 93.3%	第二東恋ヶ窪学童 108.0%	第二東恋ヶ窪学童 109.4%	第二東恋ヶ窪学童 103.6%
	第一日吉町学童 62.3%	第一日吉町学童 63.8%	第一日吉町学童 62.2%	第一日吉町学童 62.8%
	第二日吉町学童 64.4%	第二日吉町学童 68.9%	第二日吉町学童 97.3%	第二日吉町学童 76.9%
	第三日吉町学童 57.8%	第三日吉町学童 93.8%	第三日吉町学童 105.9%	第三日吉町学童 85.8%
	西恋ヶ窪学童 63.6%	西恋ヶ窪学童 68.8%	西恋ヶ窪学童 89.3%	西恋ヶ窪学童 73.9%
	※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	第一・第二東恋ヶ窪学童 97.2%	第一・第二東恋ヶ窪学童 97.0%	第一・第二東恋ヶ窪学童 92.8%	第一・第二東恋ヶ窪学童 95.7%
	第一日吉町学童 100.0%	第一日吉町学童 100.0%	第一日吉町学童 97.6%	第一日吉町学童 99.2%
	第二・第三日吉町学童 100.0%	第二・第三日吉町学童 98.0%	第二・第三日吉町学童 79.5%	第二・第三日吉町学童 92.5%
	西恋ヶ窪学童 94.7%	西恋ヶ窪学童 100.0%	西恋ヶ窪学童 92.9%	西恋ヶ窪学童 95.9%

※第二・第三日吉町学童の令和4年度と令和5年度の利用率等は別事業者の数値

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートの満足度において、90.7%が「満足」又は「どちらかといえば満足」との回答であり、昨年度に比較して低くなったものの、事業者変更への意見に対する対応において、児童及び保護者へ個別に保育方針の説明を丁寧に行うなど、信頼関係構築への努力を怠らなかった。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	狭隘状況を心配する意見に対し、学校からの協力を得て分散保育を行い工夫していた。以前からのトイレ老朽化への意見に対し、市の改修工事を実施したが、その間の保育調整に大いに協力体制を示していた。事業者変更への保護者からの意見には、真摯に向き合い丁寧な説明を辛抱強く行い、理解をいただくための努力を怠らなかった。	3 二三日吉4	3 二三日吉4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	事業者の変更に伴う職員の入れ替り等に対して利用者から声はあったものの、利用者アンケートの職員への満足度は高い水準であり、また、経験年数の多い職員や本部職員が現場において具体的な保育指導を行うことで職員の資質向上に努め、利用者の信頼を得ていた。	4 二三日吉5	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	保護者から相談があった際には、職員間で共有するとともに、市と対応の方向性をすり合わせ、早急に解決できるように努めていた。	3	3 二三日吉4
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報に記載された書類については施錠できる書棚に保管し適切に管理し、パソコンは利用者の情報はインターネットに繋がっていないパソコンを使用後は書庫へ格納し施錠するなど適正に取り扱っていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づいた各種研修が実施され、研修受講後の資料を事務室内で管理し情報共有することで内容を還元していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	配慮が必要な児童について職員全体で共有し、個々に合った環境設定及び保育内容の見直しを随時行い、関係施設と連携することによって、安心して過ごせるように努めていた。ボードを利用し視覚的に一日の流れがわかりやすいよう工夫するなど、個々の特性に応じて児童が過ごしやすい環境を整えていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の 水の 準の 特性 の評 価に 応じ た	自然災害等への対応	4	計画通り2か月ごとに不審者・火災・地震を想定した訓練を行っており、不審者想定訓練では、小金井警察署の方に来ていただき、子どもたちも交え、学ぶ機会を作っていた。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	校庭開放の際、毎回参加人数を報告し、放課後子どもプラン委員と協力して全体の見守りをしており、共催行事を行った施設もあった。学校増築工事及び学童トイレ改修工事を行った施設は、日々の安全管理について学校及び関係課との丁寧な調整を図り、工事中は学校を借用して安全に保育運営を行った。全施設が一同に会し交流の場を設けた4学童(6施設)まつりを実施し、保護者の会のブースも設け、日頃の運営への理解に結び付けることができていた。「地域の達人の技を体験しよう」では、全体の学童がそれぞれで個性を出して工夫し、プログラミングワークショップや木工工作、じゃがいも堀り、クラシックコンサート等を実施した。	4	4
	配慮を要する児童への対応について	3	障害のある児童に合った室内の環境整備、保育内容を見直し、気持ちが落ち着くよう別室に移動したり、刺激になる要因を除いたりして工夫していた。アレルギーのある児童のおやつ提供前には職員2人以上で原材料名を確認し別皿での提供などの配慮をしていた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関 実 提 す 施 案 る 状 内 況 容 に の 評 価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無	有
					有	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無	有
					有	有

主管課長の評価					
総合評価		評価の理由等			前年度
					前々年度
3	市の要求水準を満たしている	新規開所から単独での運営となっていた第二・三日吉町学童保育所が、令和6年度より同学区の既存学童が所属するグループの運営に組み込まれたことにより、指定管理事業者の変更があった。職員の入れ替わり等に起因すると想定されるご意見を利用者より頂くこともあったが、市と対応方針について調整を図った上で、経験豊かな職員や本部職員が直接指導に入るなど、一つ一つに真摯に対応することで、利用者の信頼を得ていた。また、施設の狭あいや修繕時の対応について、学校の協力を得て学校施設を借用する、地域住民の力をお借りしたワークショップを行う等、学校と地域の方々との調整力を発揮し充実した学童保育運営を行っていた。障害児やアレルギー児の対応について、職員間で情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。放課後子どもプランとの連携についても、日々の校庭開放に積極的に参加する他、共催で行事を実施する等、児童の健全育成につながる多様な体験・活動を提供していた。今後においても、引き続き学校や地域等との連携を深めながら保育の充実を図るとともに、安心・安全な施設の管理・運営を期待したい。			3 二三日吉4
		主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ			3

指定管理者の評価					
総合評価		評価の理由等			前年度
					前々年度
3	市の要求水準を満たしている	指定管理11年目となった。現場数が増え、他の事業者より引き継いだ現場もあったため、保護者の方からご意見をもらうことも多かったが、保護者とのコミュニケーションを取るよう心掛けていたこともあり、だんだんと理解を示して下さっていったように感じた。また、より良い保育を行えるよう、職員は研修を受講し、内容等を職員間で共有した。そのほか、他現場に入り、よい点は持ち帰り、改善すべき点は伝え合うことで、より良い学童保育所運営に努めた。保育のことや、対応に迷ったり、トラブルが起きたときには、法人内で共有、相談し、市にも相談、報告を密に行った。			3 二三日吉4
					3 二三日吉4

指定管理者評価委員会の評価					
総合評価		評価の理由等			前年度
					前々年度
3	市の要求水準を満たしている	令和6年度から、第二・第三日吉町学童保育所が指定管理の施設として加わった。指定管理者が替わり、職員が替わり、それまでの学童保育所運営と異なる点について、保護者からご意見等をもらうこともあったようである。そのことに対して、誠実な対応を行い、また、現場任せにすることなく、法人全体として対応を行うことで、信頼関係の構築に努めていた。 引き続き指定管理を行っている施設を含め、これまでの学童保育所運営の経験を踏まえ、保護者からのご意見にも耳を傾け、丁寧な運営に努めていただきたい。			3 二三日吉4
					3 二三日吉4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	もとまち児童館、第一・第二東元町学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	61,172,608	63,747,823	64,307,619	189,228,050
収入内訳	指定管理料	60,273,433	62,783,892	186,440,801
	利用料金	0	0	0
	その他	899,175	963,931	2,787,249
支出	61,172,608	63,075,764	58,959,764	183,208,136
収支差額	0	672,059	5,347,855	6,019,914

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	計画どおりに協定書に基づき業務が適切に実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	5	シフト表、毎月の事業報告書、育成日誌等の書類及び現地調査の結果、開館・開所日数及び時間を遵守していた。児童館は日曜日開館の日数を増やし、中高生タイムにおいても求めに応じて開館時間を延長する等、ニーズに応え、利用しやすい環境を整えていた。学童は、導入した入退室管理システムを活用し正確に児童の登降所確認を行っていた。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	協定書・仕様書上の必要な職員・支援員等を配慮し、日々の運営も基準を満たした、適正な職員配置を行っていた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保しており、施設内に掲示していた。学童は、放課後児童支援員を必要数確保していた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	4	書類は、鍵のかかるキャビネットに保管しており、協定書・仕様書に基づき必要な報告は、遅れることなく報告していた。また、その他、運営の中で必要となる報告についても、機を逃すことなく適切であった。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	職員による日常的な清掃と児童館では専門業者による清掃を行い、学童は水回り等汚れやすい所は重点的に職員が毎日清掃し施設が清潔に保たれていた。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた点検等は遅滞なく実施され、点検結果は、適切に保管されていた。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	もとまち児童館 18,331人	もとまち児童館 22,214人	もとまち児童館 23,419人	もとまち児童館 21,321人
	第一東元町学童 116.3%	第一東元町学童 141.1%	第一東元町学童 136.8%	第一東元町学童 131.4%
	第二東元町学童 27.8%	第二東元町学童 39.6%	第二東元町学童 72.0%	第二東元町学童 46.5%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	もとまち児童館 96.0%	もとまち児童館 92.0%	もとまち児童館 96.0%	もとまち児童館 94.7%
	第一・第二東元町学童 94.3%	第一・第二東元町学童 97.4%	第一・第二東元町学童 94.1%	第一・第二東元町学童 95.3%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートより、全体に対しての満足度において、95.1%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、特に児童館においては、昨年度より上回り、水準を維持できている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	来館者が自由に書けるノートの常設が、引続き記入時のマナーを維持させながら定番化されており、ノートからのリクエストでイベント実施に繋げる等、実際に形にすることで利用者との信頼関係の構築に努めていた。学童は、保護者会やお迎え時、電話での機会において積極的に子どもたちの様子を伝えるよう努めていた。子どもたちの様子が伝わるよう施設入口や窓越しの作品展示も継続している。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、97%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答されており、高い水準を維持している。利用者への声かけが暖かく、利用者が職員に話しかけやすい雰囲気づくりに努めていた。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	苦情の発生はなかった。日々職員の情報共有を行い、問い合わせを受けた場合には、経緯等を正確に確認し、市への相談を行いつつ迅速な回答をし、適切に対応していた。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	書類は整然とファイリングされ、施錠できる書棚に保管し、パソコンは、外部接続していない端末で管理し、施錠できる書棚に保管し適切に管理していた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づき、法人本部、都、市、関係機関主催の研修を行っており、職員のスキル向上に努めた。受講したものは、職員全体で情報共有しており、研修資料は常に見返せるようにしていた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	学童では、児童の個々の特性を職員間で共有し、在籍する全児童が同様に活動を体験できるよう配慮していた。児童館では、学校に行きづらい子、そのように感じている子を対象とした外部団体と連携し遊びの活動を通して自己表現やコミュニケーションを体験する場を提供し、様々な子どもの居場所としての役割を果たしていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—

施設 水の 準の特 性の評 価に 応じた	自然災害等への対応	4	必要な避難訓練が実施された。災害時のマニュアル等は職員全体に周知し、日々の朝礼、昼礼時に緊急事態発生を想定してシュミレーションし、危機管理意識の向上に努めていた。学童では、職員自らが3.11体験を子どもたちに伝え、緊急時対応への啓発に努めていた。	4	—
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	児童館では、協力してくださる人材との連携でカブトムシの育て方のアドバイスと、カブトムシを児童へ提供する行事を行い、協力者発掘によるもとまち児童館ならではの行事となっていた。隣接するさわやかプラザもとまちとの連携も深まり、夏まつり開催日に児童館と一緒に開催し、縁日行事でプラザ及び利用者の方々と児童が両施設を行き来し、楽しみを共有することができた。また、もとまち公民館との協同開催によるもとまちプチフェスや恒例の共催による、ふれあいまつりの開催と、地域ネットワークの中心施設として活躍していた。学童は校庭開放時の放課後子どもプラン委員との児童数確認がスムーズに行われている。学童の空調機故障時は、学校から体育館の使用を提案していただき、信頼関係が成り立っていることを実感した。その他、地域会議の出席や、近隣大学との連携による工作イベントの実施、恒例化してきたキッズプログラミングワークショップや夜の児童館体験を行い、地域での育成支援に大いに貢献している。	4	—
	配慮を要する児童への対応について	4	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した加配職員を適切に配置し、児童ごとに記録ノートに書き起こし、日々の保育での留意点を共有し、環境設定や児童への声かけに配慮していた。アレルギーのある児童について、年度当初に保護者との面談により留意点の確認を行っており、おやつ提供時は、アレルギー物質の有無を複数人で確認し提供ミスなく対応していた。	4	—

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度		前々年度	
関実提選 実案定 施案時の 状況内容 評価の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	有	提案 有無	有
					実施 有無	有	実施 有無	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	有	提案 有無	有
					実施 有無	有	実施 有無	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	児童館については、中高生の居場所づくりに関し特に力を入れた取り組みをしており、本来午後7時までとなっている開館時間を、中高生の求めに応じて午後8時まで延長する「中高生スペシャル&タイム」を行い、その間についても、職員を適正に配置するなど、市が求める水準以上で業務に取り組んでいた。日曜開館についても、令和6年度は実施回数を増やし、その中で利用者の交流のためのイベントを実施する等、利用者同士の関係性の構築にも寄与していた。また、利用者会議や誰でも自由に書ける「じどうかんノート」から出された意見・要望等を踏まえ、乳幼児親子や小学生以上を対象とした各種行事を企画実施するとともに、地域農園での収穫体験や地域で活躍する人材を招いたマジックショー開催等の行事を実施し、地域の講師を招いたワークショップも開催する等、地域と連携した取組を展開していた。令和6年度に実施した水族館への遠足も非常に好評であり、高く評価する。 学童保育所については、狭隘状況の中、学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行い、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。また学年ごとに「ふれあいカフェ」を開催することで、普段子どもたちが遊んでいる様子が保護者に伝わり、安心感の確保に寄与した。 今後も、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	児童館・学童ともに、利用者の安心・安全を保てるような活動を行ってきた。 児童館利用が多世代利用が増えていくなか、職員間で利用者の意見や要望に寄り添い、出来る範囲で取り組むことが出来た。 学童でも、利用者や地域、各種関係機関と連携を取りながら児童一人一人への丁寧な対応に繋がってきた。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	中高生のための開館時間延長「中高生スペシャル&タイム」を、予定以上に実施したことや、日曜日開館の実施回数を増やすなど、利用者の希望に沿った運営をしていたことを評価する。一方、そのことで職員へ負荷がかかること、他の児童館の水準との兼ね合いが気になるところでもある。 地域の方の協力を得たり、近くの施設との連携を図ったりするなど、地域に根差した学童保育所運営がなされており、日常においても、丁寧な運営がなされていることがうかがえる。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	福祉センター、生きがいセンターとくら	所属名	健康部 地域共生推進課 福祉部 高齢福祉課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	指定期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日
施設の設置目的	福祉センター：市民の福祉活動を推進し、地域社会の福祉増進を図るため。 生きがいセンターとくら：高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。		
事業概要	民間事業者たる指定管理者の能力を活用しつつ本施設の利用者の利便を向上させ、市民の福祉活動及び高齢者福祉を推進し、地域福祉の一層の増進を図ることを目的とし、指定管理者による施設の管理運営を実施する。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	35,019,590	38,464,782	39,663,240	113,147,612
収入内訳				
指定管理料	33,093,822	36,783,936	39,662,000	109,539,758
利用料金	0	0	0	0
その他	1,925,768	1,680,846	1,240	3,607,854
支出	37,546,974	36,212,460	38,962,242	112,721,676
収支差額	▲ 2,527,384	2,252,322	700,998	425,936

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき、予算執行を適正に実施している。電気料金の高騰に対し、前年比110%で予算化していたが、節電努力等により、前年度を下回る実績となった。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定等に基づき、適切に業務が実施されていることを確認した。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	条例に基づく開館日、開館時間は遵守されていることを確認した。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	業務遂行に必要な職員が確保され、執行体制が明確であった。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	施設管理者が防火管理者であり、運営に必要な有資格者が確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類については施錠可能な棚に格納するなど、適正に管理されていることを確認した。また、適時必要に応じた報告がなされている。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	利用者アンケートの結果において、現場職員及び業者による毎日の清掃により、清潔に保たれていると評価されている。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	計画のとおり実施されていることを確認した。また、異常等が見つかった際には地域共生推進課へ速やかに報告等がなされている。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	【福祉センター】 利用者数:36,706人 利用件数:2,983件 利用率:48.3%	【福祉センター】 利用者数:41,433人 利用件数:2,964件 利用率:47.8%	【福祉センター】 利用者数:40,258人 利用件数:3,022件 利用率:48.8%	【福祉センター】 利用者数:39,466人 利用件数:2,990件 利用率:48.3%
	【生きがいセンター】 利用者数計:7,042人 (内訳) 個人利用者数:2,592人 団体等利用者数:4,450人 利用率27.7%	【生きがいセンター】 利用者数計:7,607人 (内訳) 個人利用者数:2,385人 団体等利用者数:5,222人 利用率30.1%	【生きがいセンター】 利用者数計:9,066人 (内訳) 個人利用者数:2,102人 団体等利用者数:6,964人 利用率:34.6%	【生きがいセンター】 利用者数計:7,905人 (内訳) 個人利用者数:2,360人 団体等利用者数:5,545人 利用率:30.8%
利用者満足度(%)	【福祉センター・生きがい センター共通】91% とても満足39・満足183 不満19・とても不満0 その他3	【福祉センター・生きがい センター共通】93.4% とても満足42・満足186 不満7・とても不満3 その他6	【福祉センター・生きがい センター共通】94.4% とても満足63・満足256 不満18・とても不満1 その他なし	【福祉センター・生きがい センター共通】92.9%と

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	アンケートにおいて、「とても満足」、「満足」と答えた利用者が合計で94.4%であり、満足度は高かった。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	自主事業であるカフェについて、基本となる営業日以外にも利用者の要望に応じて柔軟に実施するなどサービス向上が図られている。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	アンケートにおいて、職員のマナー等について「とても満足」、「満足」と答えた利用者が合計で約98%であり、適切である。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	4	クレームはなかったが、マナー・接客研修の実施や苦情対応に係る方針の策定など、適切に対処できる体制が整えられている。	4	4
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	施錠できるキャビネットやロッカーに、個人情報記載された書類やパソコンを収納するなど、適切な取り扱いをしていることを確認した。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	事業計画のとおりを実施していることを確認した。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	対応方法について、マニュアルの作成を行い、筆談マークを受付に掲示するなど適切に対応を行っていることを確認した。	4	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準性の評価に 応じた	関係機関との連携ができていますか	3	利用者協議会をはじめ自治体や、近隣の関係機関や学校との連携がとれている。	3	3
	地域、多世代にわたる交流ができていますか	4	福祉センターまつりやみんなの食堂等の開催を通じて、幅広い年代が集うことができおり、交流が図られている。	4	4
	運営の中で工夫がされているか	4	ロビーにインフォメーションボードを設置するなど来館者への情報発信等の場面で工夫している。	4	4
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を地域特性、施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施しているか	4	近隣の小学校の児童や保護者も参加できるハロウィンやクリスマスの季節行事を開催するなど、多世代が交流できるイベントを施設の特性を活かして企画・実施した。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提選 実案定 す施時の 案内 評況容 価にの	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案 有無	提案 有無
					無	無
					実施 有無	実施 有無
					無	無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有
					実施 有無	実施 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	【福祉センター（地域共生推進課）】 令和6年度の利用人数は令和5年と比較すると減少したが、利用件数は増加しており、少人数での利用など、施設の利用方法が多様化しているものと分析する。 「福祉センターまつり」では、令和5年度の反省点を利用者協議会を中心に協議の上、改善を図り、前年度を上回る来場者数となった。 また、「みんなの食堂」も偶数月に開催し、年間定例行事として定着しつつある。近隣の第十小学校とも連携して行うことで、協力関係が構築されており、小さな子どもから高齢者までの幅広い年齢層がイベントに参加することにより、多世代交流の促進につながっている。 毎週金曜日に実施している「とくらカフェ」についても、周辺に飲食店等が少ないという事情もあり、大変好評であった。利用者より、金曜日以外にも実施してほしいという要望に対しても、営業日を増やすなど柔軟な対応が行われている。 劣化が著しかったトイレの修繕に当たっては、段階的に一部のトイレが使用できない状況が生じたが、利用者に混乱が生じないよう、適切に周知を行い、突発的な自体にも臨機応変な対応がなされた。その他の修繕についても、必要に応じた応急処置や市への迅速な報告が行われ、適切な施設管理が行われている。 【生きがいセンターとくら（高齢福祉課）】 地域生きがい交流事業において、人気のある講座を開催し、発表会・交流会を福祉センターを拠点に実施している。市内生きがいセンター6施設の中心となり、合同発表会も開催し、広く市民に事業を知っていただく機会となった。 また、自主事業の実施において、近隣の市民や団体と連携し、多世代交流や地域の居場所づくりに貢献している。 その他の指定管理業務として、公共施設予約システムでの予約をサポートするなど、利用者の対応を丁寧に行っている。	4	4
主管課長：地域共生推進課 氏名：小峯 基弘 主管課長：高齢福祉課 氏名：荒田 理沙				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	指定管理者3期目初年度となった本年度は、生きがい交流事業の講座および自主事業での講座は全て計画通り実施している。第十小学校をはじめ近隣諸施設との連携等が奏功した各企画・イベント等が実施されている。令和5年度に4年ぶりに開催した「福祉センターまつり」も本年度は、キッチンカー数を増やしまつりの賑わいを出すとともに、こどもの遊び場を構築するなど企画が大幅に拡充し入館者に喜んでいただき地域交流の一助となっている。また、みんなの食堂においては、今まで以上に調理ボランティア（5～8名）学生ボランティア（7～12名）に各回とも協力していただきながら、定期開催がなされている。子どもから高齢者まで幅広い年代層に参加していただくことで、多世代交流を促進するきっかけとなっている。本格稼働した公共施設予約システムについては、ほぼ周知されているものの、団体によっては予約当番の方の変更等でシステム予約に不慣れな方へも丁寧に対応しており、更なる定着を図っている。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	イベントなどを工夫して実施し、地域の方の参加が増えてきている状況がうかがえる。福祉センターまつりにおいても、令和5年度よりも来場者数が増加した。生きがいセンターにおいても、市内6施設の中心的な役割を果たし、発表会等を実施した。また、施設面において問題があったトイレの改修工事においても、市と協力し、一時的に使用不可となることへの対応も丁寧に行っていた。令和6年度から新たな指定管理期間となったが、今まで積み上げたことを大切に、運営を継続していただきたい。	4	4

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	しんまち児童館、第一・第二新町学童保育所及び戸倉学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 こどもの森	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	87,059,846	87,552,377	83,221,495	257,833,718
収入内訳	指定管理料	86,088,882	86,609,405	80,890,000
	利用料金	0	0	0
	その他	970,964	942,972	2,331,495
支出	86,195,374	86,574,445	82,403,455	255,173,274
収支差額	864,472	977,932	818,040	2,660,444

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業務の 履行 状況 の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定等に基づき、適切に業務が実施されており、自主事業についても計画通り実施していた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	条例に基づく開館日、開館時間は遵守されていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	執行体制の確認に必要な書類の提出が期限までになされ無い事は多々あったものの、協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置がなされていた。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保し、施設内に掲示していた。放課後児童支援員および、認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	2	書類は施設できる書棚に保管するなど、適正な管理をされており、事務室内は書類が整理整頓されていた。学童保育所での怪我等現場からの報告は迅速だったが、昨年度から引き続き事業報告書等必要書類の提出が期日を守られないことが多々あり、また、内容も不備が多数見受けられたりと、改善が必要である。	2	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	日常業務の中で職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。子どもスタッフの取り組みが確立しており、自主的におやつ後の片付けや掃除など実施する環境となっていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	保守点検業務委託等の計画に基づき、各種点検等が実施されていた。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	しんまち児童館 26,124人	しんまち児童館 29,536人	しんまち児童館 32,010人	しんまち児童館 29,223人
	第一新町学童 58.8%	第一新町学童 63.9%	第一新町学童 74.9%	第一新町学童 65.9%
	第二新町学童 50.9%	第二新町学童 58.3%	第二新町学童 73.2%	第二新町学童 60.8%
	戸倉学童 95.8%	戸倉学童 93.9%	戸倉学童 118.9%	戸倉学童 102.9%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	しんまち児童館 88.0%	しんまち児童館 84.0%	しんまち児童館 96.0%	しんまち児童館 89.3%
	第一・第二新町学童 88.1%	第一・第二新町学童 94.4%	第一・第二新町学童 95.7%	第一・第二新町学童 92.7%
	戸倉学童 89.4%	戸倉学童 94.5%	戸倉学童 95.8%	戸倉学童 93.2%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートを10月に実施。全体に対しての満足度において、95.8%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引き続きとても高い水準を維持している。	4	3
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	児童館では、要望のあった遊戯室のルール作りを行ったり、乳幼児向けの体を動かすイベントを増やしたりした。学童では、好評のおやつフリーデーを増やしたり、子どもスタッフの募集の仕方も、引っ込み思案な子も積極的に参加できるよう工夫した。	4	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、97.6%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引き続きとても高い水準を維持している。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	令和6年度はクレーム等は発生していないことを確認した。苦情マニュアルは適切に保管しており、事故の連絡マニュアルも事務室内に引き続き掲示している。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報に記載された書類については施錠できる書棚に保管し適切に管理し、利用者の情報はインターネットに繋がっていないパソコンを使用、パソコンのワイヤロック等の対策も講じられていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づいた各種研修の実施がなされていた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	障害児報告会に参加し知識の向上に努めていた。一人一人の特性を理解し静養スペース、おもちゃの国など落ち着けるスペースを確保し児童に合わせた過ごしやすい環境づくりを行っていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	2	要改善として指摘した報告書等の提出については、担当課からの督促にも関わらず遅滞することが多く、また不備も目立ち改善はなされていない。	—	3
施設水の準性の性に評価した	自然災害等への対応	3	計画通り児童館は毎月、学童保育所は2か月ごとに避難訓練を実施していることを確認した。催涙スプレーなど防犯対策の強化にも力を入れた。	3	3
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	戸倉学童は放課後プラン開催時は参加し、新町学童も放課後プラン委員と連携し参加の調整を行った。1月に六小主催のお餅つきや昔遊びイベントに職員が参加し地域と連携を図った。中学生や高校生の職場体験の受入れを行い、児童と学生との交流も図った。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	3	学童では、引き続き加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置し、児童の特性に合わせて子ども同士のサポートなど個別の対応を行っていた。保育する上で児童の健康状態の把握が日常的に必要な児童のマニュアルも事務室内に保管・共有し、適切に対応していた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の状況内容に評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	児童館については、1歳以上の幼児向けにわくわくタイムという体を動かすイベントや、乳幼児向けに特別なおもちゃを用意するイベント、中高生向けの中高生タイムの再開、勉強しやすい空間づくりなど、利用者のニーズを捉えた施設運営がなされていた。また、中高生の職場体験の受入れや地域のおまつりに職員が参加するなど、地域や学校等との連携を意識した取組も継続して実施されていた。 学童保育所については、児童館のスペースの活用や学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行い、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。また、自主事業として、引き続き昼食の配食サービスを実施し、利用者のニーズに応えていた。 令和5年度提出遅れが指摘されていた報告書等の提出については、担当課からの督促にも関わらず遅滞することが多いこと、不備が多い点については改善が必要であるが、日常のトラブルの報告などは適切に行われていた。 今後も、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	アンケート結果等を見ても満足頂いている声を非常に多く頂くことができた。また、学童保育所の登録者数、利用者数が大幅に増えている中で様々なイベントを行い利用者や保護者方からも満足いただけた。 今年度も継続して個人面談や長期休暇時の配食サービスにより、利用者の要望にもこたえることができた。特に保護者面談では保護者様のお悩みや子どもたちが家族にしか伝えられない悩みなども共有でき、対応していくことができた。児童館は天候不良や気温の問題で中止になったイベントもあったが、遠足やプレ児童館お泊りイベントなどといった昨年度までできていなかったイベントで大いに盛り上がることもできた。また、今年度も並木公民館・図書館との共催行事である子どもまつりの開催、公民館イベントのミニまつりに学童児童の参加、近隣中学校の職場体験の受け入れ、近隣小学校の社会科見学の受け入れなど地域ともよく連携することができた。 来年度以降も多くのイベントを開催しながら利用者にとって安心安全で楽しく利用できる施設としていきたい。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	特に戸倉学童保育所においては、定員数に対して登録児童数が多い状況にありながら、狭あい状況への対応や行事の実施などを行い、満足度は高くなっている。現場においては、子どもに対して丁寧に接していることがうかがえる。 しかし、昨年度も指摘があった必要書類の提出遅れについて、令和6年度において事業報告書など提出期限を過ぎての提出があった。まずは、児童館及び学童保育所の丁寧な運営が大切であるが、指定管理者の業務として、書類の提出も当然求められることである。以降は、必要書類の提出遅れ等の無いよう留意いただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	西町地域センター・生きがいセンターにしまち・にしまち児童館・西町学童保育所	所属名	市民生活部 協働コミュニティ課 福祉部 高齢福祉課 子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社こどもの森	指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
施設の設置目的	地域センター:市民の集会、学習及び交流の場として国分寺市立地域センターを提供し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与するため。 生きがいセンター:高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。 児童館:児童厚生施設として、遊びの場を提供し、子どもたちの健全な育成や親の子育てを支援する。 学童保育所:保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	地域センター:コミュニティ施策の推進、地域センターの管理運営及び施設の貸出に関すること。 生きがいセンター:60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関すること。 児童館:子どもに対する遊びや文化の提供、子どもの健全育成に係わること。 学童保育所:子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	71,674,523	70,365,063	72,250,105	214,289,691
収入内訳	指定管理料	70,264,859	69,735,666	71,480,000
	利用料金	0	0	0
	その他	1,409,664	629,397	770,105
支出	71,585,567	70,190,628	70,379,162	212,155,357
収支差額	88,956	174,435	1,870,943	2,134,334

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	予算額に対し決算額が超過している予算科目が一部あるものの、収支計画に基づき適正に執行され、消耗品の在庫管理を含め、適切な対応をしていた。	3	3
業務の 履行 状況 の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定書に基づき業務が実施されていた。引き続き、朝礼の実施をはじめ、コミュニケーションアプリや連絡ノートを活用し、情報共有や円滑な管理・運営に向けた工夫がなされていた。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	業務仕様書等に定められた開館日数・開館時間が守られていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置をしていることを確認した。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者、放課後児童支援員及び認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠できる書棚に保管するなど、適正な管理をしていることを確認し、事務室内は書類が整理整頓されていた。月次報告等での書類の報告や日常業務の報告・相談もなされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	衛生管理に係る計画に基づき、日常業務の中で職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた法定点検や検査等は遅滞なく実施されていた。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	【西町地域センター】 利用率:40.8%	【西町地域センター】 利用率:42.1%	【西町地域センター】 利用率:47.3%	【西町地域センター】 利用率:43.4%
	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,340人 (内訳) 個人利用者数:1,794人 団体等利用者数:2,546人 利用率:40.2%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:5,219人 (内訳) 個人利用者数:1,579人 団体等利用者数:3,640人 利用率:41.9%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:6,026人 (内訳) 個人利用者数:2,304人 団体等利用者数:3,722人 利用率:45.8%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:5,195人 (内訳) 個人利用者数:1,892人 団体等利用者数:3,303人 利用率:42.6%
	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,130人 【西町学童】 利用率:90.7%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,740人 【西町学童】 利用率:92.0%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:20,837人 【西町学童】 利用率:107.8%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:19,236人 【西町学童】 利用率:96.8%
利用者満 足度(%)	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 97%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 95%
	【にしまち児童館】 98.0% 【西町学童】 91.7%	【にしまち児童館】 91.0% 【西町学童】 92.9%	【にしまち児童館】 99.0% 【西町学童】 89.4%	【にしまち児童館】 96.0% 【西町学童】 91.3%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	アンケートによると、西町プラザ及び西町学童保育所の全ての施設において概ね9割に届く満足度を得ており、高い水準を維持している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	公共施設予約システム利用者端末での操作が不慣れな利用者に対し、スムーズな手続が行えるよう、積極的に補助を行っていた。また、児童館では要望があった、ベビーマッサージやたき火による料理企画、宿泊企画を実施した。学童では、手作りおやつ月2回の提供と狭隘状況緩和のために学校施設を借用し分散保育、配食サービス利用を実施して好評を得ていた。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	職員のマナー、言葉づかい、服装等は公共施設であることを十分に認識し、適切であった。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	今年度はクレーム等は発生しておらず、苦情マニュアルは適切に保管しており、事故の連絡マニュアルも事務室内に掲示していた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報管理に係る計画に基づき、個人情報が記載された書類については、施錠できる書棚に保管するなど、厳格な情報管理がなされていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づき、全ての研修が実施されていた。研修受講後の資料を事務室内で管理し情報共有していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	利用者ごとの特性に応じて筆談対応をするなど、適切に対応していた。また、市が実施した障害児研修や障害児報告会、担当者会議に積極的に参加していた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—	—	—	—
施設の 水の 準の 性 の 評 に 価 応 じ た	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見を西町プラザの運営に反映すること)	3	利用者協議会会長の交代に係る各利用団体との連絡調整について、充分なサポートを行い、新会長への移行も問題なく完了した。	3	3
	地域との連携(西町プラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	西町プラザまつりの開催にあたり、実行委員会と利用者との連携による活動発表やバザーなど様々な企画を実施し、多世代交流が図られた。また、地域町内会の祭りに協力するなど、地域との連携を深めた。	3	3
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を、地域特性、複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	3	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業として、利用者から継続希望のある「落語会」を企画し実施した。	3	3
	自然災害等への対応	4	児童館では、引き続き避難経路のポスターや、避難経路地図が複数掲示され、机上訓練も含め毎月避難訓練を実施した。学童では、計画通り2か月ごとに避難訓練を実施した。消防庁が配信している防災動画で災害に対する知識向上を図った。	4	3
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	落語会に児童も参加したり、例年通りしめ縄づくりを一緒に行うなど複合施設ならではの交流を実施した。学童では、八小の家庭科室を借用した分散保育を継続し、放課後プランとも連携し参加した。西地区まつりなど地域の行事にも積極的に参加した。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	3	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置しており、室内にいられない児童は校庭で散歩するなど、特性に合わせた保育を実施していた。アレルギー児のためのエビベン研修を4月に実施し、手作りおやつも成分表を事前に保護者と確認していた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提選 す施案定 る内容時の 状況内容 価の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	【西町地域センター】 使用承認業務や施設維持管理等は、条例・規則等の規定及び協定書・仕様書の内容に基づき実施され、法定点検も遅滞なく行っていた。また、例年同様公共施設予約システムに対して「利用しにくい」との意見をいただいているが、窓口できめ細かい補助を行うなど利便性の向上に努めていた。自主事業では、昨年度に続き地域センター及び生きがいセンター利用者団体の合同作品展覧会を実施し、利用者の交流機会が提供された。事業計画書及び事業報告書の修正が散見されたので精度を高める様、チェック体制を強化するなど改善を求める。 【生きがいセンターにしまち】 市の方針に沿って、迅速かつ丁寧な対応を利用者へ行っており、大きな混乱もなく、運営がなされていた。また、複合館の特色を生かし、多世代交流(敬老)事業として学童保育所の子どもたちのメッセージを生きがいセンター入り口に掲示をしたり、地域生きがい交流事業で制作した作品の展示を地域センターと合同で行い、地域の市民に生きがい交流事業を知っていただく機会を設けた。 【にしまち児童館・西町学童保育所】 児童館については、ベビーマッサージやたき火による料理企画、児童館に泊まろう等の様々なイベントを実施するなど、利用者のニーズを捉えた施設運営がなされていた。また、児童館では毎月避難訓練を実施し、自然災害への対応を適切に行っていた。学童保育所については、学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行うとともに、手作りおやつを月2回実施するなど丁寧な保育が実施され、保護者の負担軽減のための配食サービスも実施していた。今後も学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。	3	3
		主管課長： 協働コミュニティ課長 氏名： 小坂 彰久 主管課長： 高齢福祉課長 氏名： 荒田 理沙 主管課長： 子ども子育て支援課長 氏名： 山元 めぐみ		

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	【にしまち児童館・西町学童保育所】 子ども同士のトラブル、怪我の対応など1つずつ丁寧に対応した。利用者のニーズを聞き取り、要望の高かったマンガや新しいおもちゃを購入したりした。工作や調理のイベントでは感染対策をして開催した。小学生からの要望が多かったコマ大会も実施し、来館につなげた。秋のブラザまつりでは多世代の交流の場として体験コーナーで吹矢や輪投げを体験してもらった。11月にはウエストタウンまつりを開催して多くの利用者の来館があった。西町学童保育所においては、自主事業として地域の方に協力して頂きながら「しめ縄作り」を実施、異年齢の交流の場として〇〇タイムの中でJUMP-JAMの遊びを取り入れて様々な体験ができるようにした。又、地域の方に喜んでもらえるようクリスマスには国分寺市イメージキャラクターぶんじほたるホッチに来館してもらい写真撮影会を実施したり、春にはひな飾りと吊るし雛を飾り来館者に喜んでもらい、秋には敬老行事で学童から地域の方々へ手紙を書いてそれを掲示した。 【西町地域センター・生きがいセンターにしまち】 利用者の言葉に耳を傾け、利用者が快適に過ごせる様に改善を行った。自主事業として季節が感じられる皆の憩いの場となるように、施設内の飾りつけを行い利用者に季節を感じてもらった。利用者協議会の活動を活性化させるためにその資金となる資源物回収に協力した。利用者の声を聞き、今年度も西町ブラザまつりを開催し多くの方に楽しんでもらい、地域の活性化に努めた。利用者協議会役員会と連携し役員会の開催や利用者協議会の開催の準備を行った。また、作品発表の場として生きがいセンターと地域センターの利用団体及び生きがい交流事業受講生も参加して展示会を企画実施した。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	西町ブラザまつりを行い、地域の交流を図るとともに、複合施設として多世代交流が図られていた。落語会への児童の参加もそれである。また、児童館、学童保育所においては、子ども同士のトラブルなどについても、丁寧な対応が行われていたことがうかがえる。 一方、市へ提出する書類について、期限は守られてはいるものの、内容について不備が多く修正に時間を要するといったことが見受けられた。しんまち児童館のグループと同様、書類の提出について改善を図っていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	もともち地域センター・生きがいセンターもともち	所属名	市民生活部 協働コミュニティ課 福祉部 高齢福祉課
指定管理者名	株式会社東京リーガルマインド	指定期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
施設の設置目的	地域センター:市民の集会、学習及び交流の場として地域センターを提供し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与するため。 生きがいセンター:高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。		
事業概要	地域センター:コミュニティ施策の推進、地域センターの管理運営及び施設の貸出に関すること。 生きがいセンター:60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関すること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	15,708,174	15,302,961	15,302,961	46,314,096
収入内訳				
指定管理料	15,524,078	15,302,961	15,302,961	46,130,000
利用料金	0	0	0	0
その他	184,096	0	0	184,096
支出	15,500,005	14,757,211	14,791,294	45,048,510
収支差額	208,169	545,750	511,667	1,265,586

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	予算額に対し決算額が超過している予算科目が一部あるものの、収支計画に基づき適正に執行され、消耗品の在庫管理を含め、適切な対応をしていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定等に基づき適切に業務が実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	条例及び協定等に規定された開館日、開館時間を遵守されていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	職員が1名退職しているが、業務に支障がないようにシフトを組んで対応していることを確認した。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者の必要な有資格者が確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は、管理事務室内の施錠できる書庫に保管し、適切に取り扱われていた。また、月次報告及び自主事業実施報告書等の必要な報告がなされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	週1回、業者による清掃を実施しているほか、毎日の現場管理員の清掃により清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	報告書等の書類確認や現地調査の結果、適切に実施されていることを確認した。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用率	【地域センター】 利用率:27.9%	【地域センター】 利用率:28.5%	【地域センター】 利用率:29.0%	【地域センター】 利用率:28.5%
利用者数	【生きがいセンター】 利用者数:1,007人	【生きがいセンター】 利用者数:1,102人	【生きがいセンター】 利用者数:1,121人	【生きがいセンター】 利用者数:1,077人
利用者満足度(%)	96.4%	93.0%	87.8%	92.4%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートでは約88%の満足度を得ており、前年と比較し減少傾向ではあるが、不満項目も減少していることから、高い水準を確保していると考ええる。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	キオスク端末の操作が不慣れな利用者に対し、積極的に補助を行っている。また、利用者の声を反映し清掃道具を用意した。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	職員のマナー、言葉づかい、服装等は公共施設であることを十分に認識し、適切であった。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	4	利用者ではなく、近隣住民からのクレームであったが、事業報告書から、対応していたことが確認できた。	4	4
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報を処理するパソコンとインターネット接続のパソコンを区別し、権限を施設長に限定するなどの工夫がなされていた。また、個人情報に関わる書類も、都度、施錠できる棚に格納し、適切に取り扱われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	業務に必要な研修を実施していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	車椅子やシルバーカーを使用した利用者に対して、積極的に補助を行うなど、適切な対応がなされていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設水の準特性に評価した	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見をもとまちプラザの運営に反映すること)	3	利用者協議会は令和5年11月に再開された。本協議会との連絡・調整を密に行いながら、もとまちプラザの運営に関する意見を聴取する体制を整えていることを確認した。	3	3
	地域との連携(もとまちプラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	今年度よりもとまちプラザまつりが再開された。開催にあたり、実行委員会との連絡・調整は適切に行っていた。	3	3
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を、地域特性、複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	2	自主事業については、企画後、集客できない等により、全ての事業について開催されていない。広報の仕方や日程の考え方など事業の進め方について研究していたきたい。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提選 実案定 する施 る内容 状況 評価の 時の 内容 の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案 有無	提案 有無
					無	無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	【もとまち地域センター】 使用承認業務や施設維持管理等は、条例・規則等の規定及び協定書・仕様書の内容に基づき実施され、法定点検も遅滞なく行っていた。また、公共施設予約システムに対して「利用しにくい」との意見をいただいたが、窓口できめ細かい補助を行うなど利便性の向上に努めていた。 自主事業では、担当者の退職やその引継不足等による事業の中止が複数の講座であったことから、今後は引継ぎなどの内部の連携を適切に行い、利用促進に資する企画の運営に努めていただきたい。また、事業計画書及び事業報告書の精度を高める様、チェック体制を強化するなど改善を求める。 【生きがいセンターもとまち】 利用者及び近隣の理解を得るために丁寧な対応を図り、安全で安心な運営を行うと共に、地域の高齢者の居場所づくりに貢献している。自主事業について、4講座実施予定だったが、周知広報、日程調整等がうまくいかず全講座中止になったため、改善を要する結果となった。	3	3
主管課長： 協働コミュニティ課 氏 名： 小坂 彰久 高齢福祉課 氏 名： 荒田 理沙				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	本年度はコロナ禍が収まり、もとまちプラザまつりが復活したことで、地域の方との交流を深めることが出来た。自主事業においては、運営準備のミスなどで中止となり、計画のとおり履行できなかった。また、季節のイベントは前年に引き続き、館内装飾に留めましたが、大きく壁面を利用したり、配布物を作成したり工夫しながら対応した。	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	自主事業について、一部実施できなかった事業があったことは残念であるが、新型コロナウイルス感染症でしばらく実施できていなかった、もとまちプラザまつりを再開し、地域との連携を深められたことを評価する。建物の造りが高齢者には使いにくい面がある状況下ではあるが、その中でも、高齢者の交流や健康の維持に寄与していた。他の施設と比べて利用者が少ないようであるが、ソフト面での対応をより充実させるなど、利用者の増加につなげていただきたい。	3	3

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	国分寺市生きがいセンターさわやか	所属名	福祉部 高齢福祉課
指定管理者名	特定非営利活動法人 あおぞら	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設の設置目的	高齢者が健康で、生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。		
事業概要	60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関すること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	25,400,914	25,922,043	26,395,020	77,717,977
収入内訳				
指定管理料	23,812,962	24,351,000	24,351,000	72,514,962
利用料金	0	0	0	0
その他	1,587,952	1,571,043	2,044,020	5,203,015
支出	25,007,385	25,096,467	25,905,662	76,009,514
収支差額	393,529	825,576	489,358	1,708,463

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 支 確 計 性 画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき、適正に執行されている。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	指定管理業務仕様書のとおり業務が実施されている。事業計画書に記載の、会員数・利用者数の回復・拡大のため、新規企画や催事を実施し、一定の効果をあげられている。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	仕様書のとおり守られている。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	指定管理業務仕様書に基づき、適切な人員配置を行っている。 清掃スタッフの欠員については解消されたことを確認した。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	確保されている。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	休館期間を利用し、書類の整理を行い、鍵のかかるキャビネットに適正に保管されている。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	館内清掃が行き届いており、常に清潔に保たれ、利用者の評価も良い。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	4	指定管理業務仕様書及び事業計画書に基づき、確実に実施されている。	4	4

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	25,134	19,263	25,307	23,571
利用者満足度(%)	98%	98%	99%	98%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートでは、満足度が98.9%と非常に高く評価されている。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	昨年度設置した「ご意見番」を引き続き行っており、意見や要望について検証を進め、可能な限り対応している。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	丁寧な対応をしており、利用者アンケートの評価も高い。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	常に丁寧な対応を心がけており、クレームは発生しなかった。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報保護法及び国分寺市個人情報安全管理措置基準に準拠し、適切な取り扱いを行っていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	研修計画に基づき、内部研修・外部研修を受講している。 デジタル化推進のための研修も実施している。	4	4
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	配慮の必要な来館者が多い中、柔軟な対応を行っている。	4	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—	指摘事項なし。	—	—
水準に 施設の 特性 に応じた 評価	後継人材の育成の進捗について	3	マニュアルに基づき、パソコンを使用した研修を実施し、後継者幹部を育成している。また、積極的な広報活動を行うことで利用者を増やし、地域の人材獲得に向け努力している。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提選 す施案 る状内 評況容 価にの 時の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	無	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	無	提案 有無	提案 有無
					無	無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	「ご意見番」や利用者アンケートでは、利用者の要望や声を広く集め、運営に反映していた。丁寧な対応やマナーに関しても、高い評価が多く上がっている。また、新たな事業やイベントを開催した結果、退会数よりも新入会員数が上回り、アンケートでも好評なことから、利用者の要望に応えた実施を積極的に行っている。以上のことから、施設の設置目的である、高齢者の交流を促進し、心身の維持、向上を図ることに大きく寄与したことを評価する。	4	4
		主管課長：高齡福祉課 氏名：荒田 理沙		

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	平成18年開設以来、本施設を適正かつ円満に管理・運営し、ご利用者の健康の維持増進と介護予防事業を推進し、高齢者福祉はもちろんのこと、異世代交流を通じ地域福祉活動についても積極的に貢献しています。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	利用者を増やすために、チラシ配架場所の増設や敷地内におけるのぼり設置などを行い、実際に成果をあげていた。また、高齢者同士の交流を促すことに留まらず、子どもやミドル世代との交流促進のために、近隣児童館との共催イベントを開催していた。アンケートの結果を見ても、それぞれの事業等に対する満足度は高い結果となっている。引き続き、地域に根差した施設運営を行っていただきたい。	4	4

令和 7 年 11 月 19 日

各 部 長 殿

国分寺市長 丸 山 哲 平

人事異動について

標記の件について、次のとおり人事異動を内示し、あわせて通知します。

記

- 1 発令年月日 令和 7 年 12 月 1 日
- 2 異動対象者 別紙「新規職員一覧表」のとおりに
- 3 異動規模 主任職 1 名（新規採用職員 1 名）
一般職員 1 名（新規採用職員 1 名）
合 計 2 名
- 4 そ の 他
 - (1) 分任出納員の任命依頼について、11 月 24 日（月）午後 5 時までに職員課人事係へ報告してください。
 - (2) 人事異動に伴い、職員証明書等の発行が必要な場合は、「職員証明書等交付願」を職員課人事係に提出してください。
 - (3) 新規採用職員の配属については、12 月 2 日（火）に行います。

令和7年11月19日

各 部 長 殿

国分寺市教育委員会

人 事 異 動 に つ い て

標記の件について、次のとおり人事異動を内示し、あわせて通知します。

記

- | | | | | |
|---|-------|-------------------|-----|----------|
| 1 | 発令年月日 | 令和7年12月1日 | | |
| 2 | 異動対象者 | 別紙「新規職員一覧表」のとおり | | |
| 3 | 異動規模 | 一 般 職 員 | 1 名 | (新規採用1名) |
| | | 合 計 | 1 名 | |
| 4 | そ の 他 | 人事異動に伴う発令式は行いません。 | | |